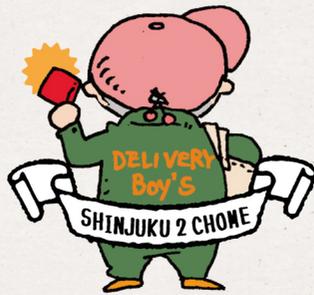


DELIVERY
BOYS



Vol. 2



akta monthly schedule
特別編集

デリヘル
くんが聞く!
大撃 大拳 インタ
ビュー!!! Vol. 2

akta
community center

DELIVERY
BOYS



DELIVERY BOYS

はじめに

この冊子は、community center aktaが、毎月発行している「akta monthly schedule」内の「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー!!」より、2019年4月号～2020年12月号までのインタビュー内容を掲載しています。

**前回のVol.1が好評につき、
今回…Vol.2発行の運びとなりました——!!**

前回同様、コンドーム配布にご協力頂いている店舗様に対しインタビューを行い、デリバリーボーイズに関連するお話やお店の情報、プライベートなことまで、バラエティーに富んだ内容となっています。

今回は、新型コロナウイルス感染症に関するお店のママさんやマスターのインタビュー、aktaセンター長交代挨拶など、通常のインタビューにはない項目も追加されています。また、HIV検査に関する情報をまとめた「あんしんHIV検査サーチ」の特集ページも追加されてボリューム満点な一冊となっています。

新宿二丁目で遊んだり、セックスを楽しむことと同時に、性の健康について考えることは、ゲイライフにおいてとても大事です。この冊子が、みなさんのゲイライフを豊かにする一冊となれたら幸いです。



Let's Interview Bar Map

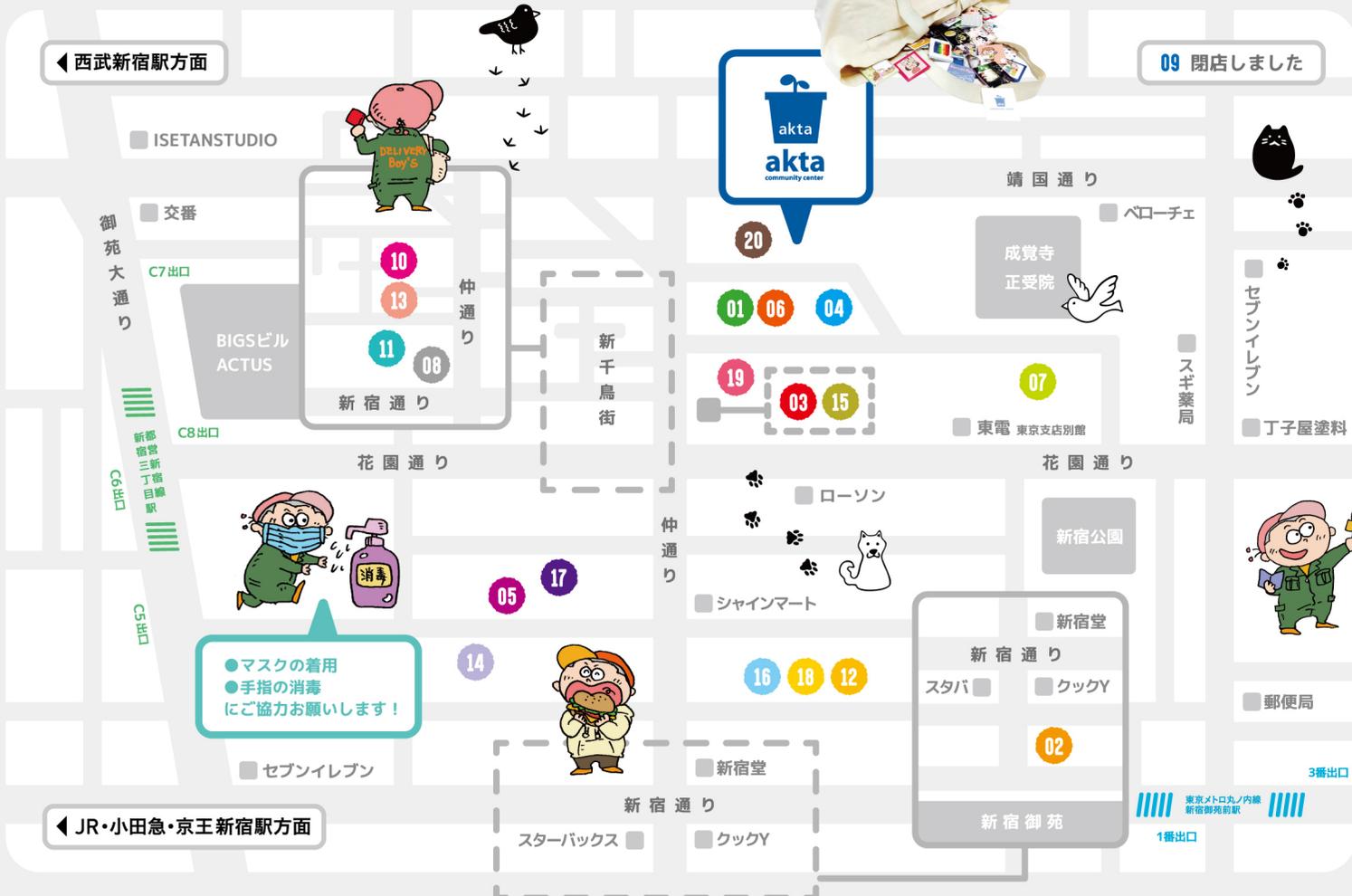
デリヘルくんが聞く! Vol. 2 突撃インタビュー!!

★ お店に遊びに行こう★

マップ & もくじ

「デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!!」より、2020年12月号までの全19店舗+デリバリーボーイズのインタビューを掲載!! 気になるお店があったらぜひ、遊びに行ってみてね★

- 01 SAMBO (P4-P5)
- 02 PROP (P6-P7)
- 03 MONSOON (P8-P97)
- 04 10count (P10-P11)
- 05 cream (P12-P13)
- 06 SEVENTH (P14-P15)
- 07 BACKROOM TOKYO (P16-P17)
- 08 Castle (P18-P19)
- 09 Leo LOUNGE TOKYO (P20-P21)
- 10 オカマルト (P22-P23)
- 11 THE CLUBHOUSE (P24-P25)
- 12 AVANTGARDE TOKYO (P26-P27)
- 13 Penguin (P28-P29)
- 14 and (P30-P31)
- 15 MARK LAND (P32-P33)
- 16 flik flak (P34-P35)
- 17 AISOTOPE LOUNGE (P36-P37)
- 18 Base (P38-P39)
- 19 酔処がいずば (P40-P41)
- 20 デリバリーボーイズ (P42-P43)



二丁目ママ図鑑



akta community center akta
 (デリバリーボーイズ)

東京都新宿区新宿2-15-13第二中江ビル301
 開館時間 16:00~22:00 (月・火・水曜・年末年始除く)
 TEL 03-3226-8998 akta.jp Twitter@akta_info

“今、語られる上京秘話 ママを支えたものとは？”

(掲載号:2019年4月号)



SAMBO

東京都新宿区新宿2-15-13
ナカエビルIII 302
TEL 03-3341-1527
営業時間 21:00~翌3:00
定休日 火曜日

01

トシユキさん

Q: デリパリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください！

トシユキさん: 一人面白かったのが、お客さんがカラオケ歌ってる最中に届けに来てくれて、その子が「この歌好き！」って言ったら、そのお客さんがマイク渡してその子と一緒にカラオケ歌ったりしてたのがすごい面白かったりして(笑)良い子だなと思って。基本デリヘルの方たちってすごい良いなって、フランクだから。とっつきやすく、うちはすごい有り難く思ってます。あと、お客さんがポロっと教えてくれたことをデリヘルの子に相談したことがあるんですよ。そしたら「次来るまでに調べておきます！」って言って、それで教えてくれたりとかする、そういうコミュニケーションを取れるのも素敵なカタチだと思ってます。

デリヘルくん: ありがとうございます。お客さんの反応とあってどうですか？

トシユキさん: あんまりうちは差別的な目はなく、みんなフランクに。あとコンドーム届けてくれる有り難みを分かってくれてるのかな？ 昨日ちょっと確認したけど、減ってる量(コンドーム)が多いので、やっぱり届けて下さってることにお客さんも感謝してくれてたら嬉しいなって僕は思ってます。

Q: コンドームをキッカケに会話になることは？

トシユキさん: パッケージがかわいいから集めてるんだって人とか、あと地方の方とか珍しそうに持って帰ってくれたりとかすると嬉しいですね。でもトイレに基本置いてるんで、恥ずかしいじゃないですか？ あんたSEXするの？って聞かれるのが(笑)。

だからこっそり持って帰られる方もいらっしたりとか、まあ色んな人がいますね。

デリヘルくん: コンドームのパッケージはどんなのが人気ですか？

トシユキさん: 自分の好みの漫画？柄のやつとか好まれてたりしますね。この人の絵好きなんだって、そういうのを喜んでたりしますね。



Q: お店の名前 (SAMBO/サンボ) の由来はなんですか？

トシユキさん: これちょっと放送禁止かもしれないですけど…昔「ちびくろサンボ」って本があったじゃないですか？ 僕大阪に住んでたんですけど、二丁目にお店を出すときに、ちび専BARみたいなを出したいねってオーナーさんと相談して、ちびくろサンボからサンボを取ってお店の名前を付けさせてもらったんです。

デリヘルくん: そこから来てたんですね！

トシユキさん: みんなには格闘技でしょ？って言われるけど、格闘技とかゲイの子は怖くて…(笑)。

デリヘルくん: 怖いすね(笑)。

トシユキさん: 殴られたくないね(笑)。だからちっちゃい子が集まればと思って付けたけど、今はもう全然、色んな人が集まってくれたらそれで嬉しいですね。

Q: お店のママをしようと思ったキッカケは？

トシユキさん: 大阪にいた時はチーママだったんですが、東京で一回やってみたいって言われて。二丁目って、全世界レベルでもすごいみんなに知れ渡っているし、自分も東京で一瞬でも良いからやってみたって気持ちで東京へ来てみました。失敗しても良い経験になるなって思っていたので。まあ、若さゆえに、できたのかなって思います。

デリヘルくん: その時はママとして？

トシユキさん: ママとして来たんですけど、力不足でしたね…。

デリヘルくん: 大阪と二丁目とで違いみたいなものってありましたか？

トシユキさん: よくよく考えたら、僕はないと思うんですよ。自分はただ、周りの人に恵まれたと思います。

デリヘルくん: その後、独立してからの気持ちの変化はありましたか？

トシユキさん: ちょっと肩の荷も降りたけど、肩の荷がまた上がったって感じですね。これからは全部自分の責任がつかまよう。オーナーさんがいたから、甘えていた部分があったから。でも、SAMBOが独立しても、ちゃんと助けてくれて、それは本当に感謝ですね。すごい肩の力が抜けたのは10年目を迎えてからですかね。



10年頑張れた自分も嬉しかったけど、やっぱり忘れちゃいけないのは、お客さんが支えてくれているからっていう気持ちで。ありがたいですね。支えてくれて。

Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？

トシユキさん: 自分が辛いときで良いから、身近な人を助けられるようなコミュニティが作れる街でいてほしいですね。これこそ、HIVなんだよって教えてもらおう機会があったときに、僕に教えてくれてありがとうって言うような優しい人がどんどん増えていけば、より優しい街になっていくんじゃないかなって思うのが、僕の気持ちです。

やっぱり恋愛ができないとか仕事でもバレちゃうとかいろんな悩みがあるけど、恋愛も仕事もうまくできるからって。こういう仕事しか僕してないから、屋間の会社員のことは分からないんですけど、でも頑張って立派に恋してらっしゃる人や、仕事でも出世している人からそういう話を聞くと、なんか。

デリヘルくん: ありがとうございます。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

トシユキさん: どんな方でも。フランクに来ていただけたらありがたいです。よろしくお願いします。

デリヘルくん: ありがとうございます。

“ラグビーの精神で二丁目ヘトライ！ (掲載号:2019年5月号) 色んな人が集う、ウイスキーの飲める店”



文太さん

PROP

東京都新宿区新宿2-4-9
中江ビルB1
TEL 03-3527-9086
営業時間 14:00~20:00 (cafe)・
18:00~翌5:00 (BAR)
定休日 なし
www.barprop.com

Q: コンドームを置こうと思ったきっかけは？

文太さん: ゲイ産業で僕は仕事をしているので、ゲイバーですから、そこで置いてちょっとでも役に立つならそれに越したことはないですね。

デリヘルくん: もともとご存知だったんですか？

文太さん: もちろん。だいたい僕が行くお店に置いてあったので。最初にお話を頂いたときに嬉しかったので、二つ返事で「Yes」って言ったんですよ(笑)。

デリヘルくん: お店の名前 (PROP/プロップ) の由来はなんですか？

文太さん: ラグビーのポジションの名前で「プロップ」って言うのがあります。一番デブがやっているところなんですけど、それを昔やっていたものから、そこからこの名前にしています。

デリヘルくん: それはどういうポジションなんですか？

文太さん: スクラムが一番先頭ですね。右と左の端。真ん中はフッカーって言うポジションなんですけど。一番前は3人いて3対3でやるんですね。この両端がプロップです。柱っていう意味です。

デリヘルくん: カウンターに設置してある棒もラグビーに関係あるんですか？

文太さん: そうですね。ラグビーのゴールポストを模してます。1/20スケール風(笑)。

デリヘルくん: お店の名前もそうですが、コンセプトとしてもラグビーを？

文太さん: そうなんです。ラグビーって15人でやるスポーツなんですけど、体型がバラバラなんです。超デブがいたら、細い人もいて、ちっちゃい人もいて、そういう体型じゃないと務まらないポジションがあるので。体型とか年齢とか分け隔たりがないのがラグビーの精神なので、お客さんは色んな人に来てもらいたいというのが大本にある。ただ、店の名前が名前なので、働いている人がためになってます。



Q: クラブイベント「PROPナイト」について教えてください！

文太さん: うち周年パーティーをあんまりやらないんですよ。スタッフや僕のバースデーも全くしないんです。3500円で焼酎飲み放題だよー、でもお店いっぱいだからお客さん気を遣って2~3杯で帰りますよって言ったら、お店の丸儲け感がすごくてあんまり好きじゃないんですよ。毎年8月が周年なんですけど、僕の誕生日も8月で、オープンの日と3日違いなんです。普通ママの誕生日と周年って分けてやると思うんですけど、それが嫌なのであえて潰したんです。その代わりにそこにクラブイベント「PROPナイト」を位置づけることで、お客さんは3500円で1ドリンクがちゃんとしてオープンからクローズまで気にすることなく楽しめる。ずっと楽しんでもらえる空間を提供するのなら、同じ3500円でも付加価値があるかなと思って僕はナイトに拘ってます。

Q: 今、お店で (または個人的に) 流行っていることはありますか？

文太さん: 割とコレクター気質というか…(店内に)ウイスキーたくさんあるように見えますけど、これ半分くらいに減らしたんですよ。でも収集癖は全然終わってなくて、家にどんどん増えて。なのでウイスキーブーム再来(笑)。ただ家ではあんまり開けないので、コレクションしたやつを入れ替えながらお店に出して、お客さんがどんな反応するかとか楽しみにしてます。

デリヘルくん: お店ではウイスキーの注文は結構ありますか？

文太さん: そうですね、好きな方が多い。たぶんうち安いですよすごい。あと種類もあるんで。ウイスキー好きだけど、二丁目はやっぱり焼酎がメインの文化だったから、ウイスキー飲むなら他の街行ってたとか、ノンケの店行ってたってお客さんが、うちに来てくれるようになって。基本は焼酎のボトルだけど、あれが飲みたいこれが飲みたいって言ったら、ショットで置いたりしてるので、なるべく飲みたいものを飲んでもらえるようにはしてます。

Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？

文太さん: 僕は、二丁目がちょっとずつオープンになってきた第一期だと思うんですよ。て言うのは、テレビのおかげでノンケで言ったら二丁目に目を向けてきて、どんどん流入してきてるじゃないですか？それを嫌って新橋とか上野とかに行ってしまったゲイの人達いっぱいいる訳ですよ。でもそれってただの言い訳で、ノンケの人にゲイであることを認めてもらいたいって思う人も、そうじゃない人もいて、その意識自体がいらんことじゃないですか。自分が男だーって言いながら歩く人なんていないし、自分が女だーって言いながら歩く人もいないので。まずその摩擦がやっとならなくなったと思うので。逃げたままってことは、自分のセクシュアリティそのものを自分で遠ざけてしまってるわけで。それがまた戻ってくるのが第二期で、すったもんだあってフワッと全体に馴染むまで第三期、第四期って時間かかるかもしれないけど。

僕が最初から言ってるのは、誰でも入れるってのが重要で。普通が普通であるように営業し続けたいなと思ってます。そういう僕の基本的な考え方が、営業方針に現れてると思うので、そうだと良いと思います。



『若い子の登竜門から15年』 (掲載号:2019年6月号) 『変わりゆく飲み方、変わらない飲み方』



MONSOON

東京都新宿区新宿2-14-9
島崎ビル6F
TEL 03-3354-0470
営業時間 月~木 19:00~翌6:00
金土日祝祝前日
15:00~20:00 (Tea)
20:00~翌6:00 (BAR)
定休日 基本なし
Twitter@monsoon2149

たつよしさん

Q: デリパリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!

たつよしさん: 毎週金曜日に来ていただけるので、結構お客さんから「今の人たちどういう人たち?」って聞かれることが多いです。そういう時にコンドーム補充しながらこういう活動してるんだよって話す機会がありますね。結構目立つじゃないですか? (笑) だからデリパリーボーイズのことに会話をキッカケになったりしますね。

デリヘルくん: ボーイズの子たちとの絡みはありますか?

たつよしさん: 同じ人が何度も来てくれたりすると顔馴染みとかになってくるので、一言二言話したりして。時間が経ってくると仲良くなってくるので、プライベートでお客さんとして遊びに来てくれたりとかすることもありますね。

Q: コンドームをキッカケに会話になることは?

たつよしさん: 結構ありますね。パッケージとかも可愛いから、持ってきて「可愛いでしょ? 持っていきなよ、生はダメだから着きなよ〜」って話になって、そうするとセックスの話にもなったりするんですけど。

ゲイの場合だとアプリとか、出会い系だったりとか、ハッテン場でのエピソードだったりするので、その時にゴム一応持っておきなよって話になったりとか。デリパリーボーイズの方たちが来てくれるとコンドームについても再認識出来る良い機会になってるのかなと思います。

Q: お店の名前 (MONSOON/モンスーン) の由来はなんですか?

たつよしさん: 以前にオーナーから聞いたことあるんですけど、モンスーンって季節風って意味なんですよ。だからどの季節にも、モンスーンの風を届かせるように的な (笑)。そういうこと聞いちゃうとやっぱりちょっと「あぁ…」って思ってた。「じゃあそれで (笑)」みたいな感じで (笑)。あとうちの系列はみんな「M」から始まるんです。そういうのもあってのこじつけなのかなって (笑)。

デリヘルくん: 系列店って何店舗あるんですか?

たつよしさん: うちの1Fにある「MARKLAND」隣のビルの「MARROAD」新宿公園前にある「mucho」ってお店で、全部Mから始まるんです。だから4店舗かな。

Q: 週末はcafe営業もしてるんですね?

たつよしさん: そうですね。金土日祝祝前日はティータイムって言って、15:00~20:00までは1杯500円〜で飲めます。

デリヘルくん: ティータイムとバータイムで客層って変わりますか?

たつよしさん: やっぱり屋間にしか来れないお客さんもいるけど、よくみんな昼からお酒を飲んでます (笑)。結構屋間の方がすごい飲み方する人が多いみたいで、まあ時間は関係なくみんなお酒は飲みたいんだなって思いますね (笑)。二丁目って一日中って言うか、何日でも飲めちゃうからね。食事出来るお店も増えたり、昼夜問わず飲めるし、泊まれる施設もあるし、すごいですよ (笑)!!



Q: 個人的ですが…若い子の登竜門的なイメージがあったんですが。

たつよしさん: 結構言われますね。今は若い子は若い子のバーって個別化されてるイメージがあるし、ネットの普及とかアプリの普及がすごいから、若い子同士での情報交換によって若い子のバーに集まるってことがすごい増えてる気がします。うちとかはスタッフの年齢も当時に比べて上がってきて、僕たちと近い年齢くらいのお客さんが増えてきてますね。なので登竜門ってよりは、ショットもやっているので来やすかったりはするけど。一見さんと常連さんと半分半分くらいですね。でも老若男女気にせず気軽にお越し下さい!

デリヘルくん: ショットバーのイメージありますよね。

たつよしさん: 昔から来てる人はやっぱりショットバーのイメージが強くて、自分も当時15年前とかにここに来たんで、やっぱりショットバーのイメージなんですけど。今はボトルで飲んでくださるお客さんもだいぶ増えて、以前は無かったカラオケも入れているので、歌いながらボトルで飲むお客さんが多くなりましたね。今はボトルのお客さんとショットのお客さんと半々ですね。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

たつよしさん: やっぱり自分がゲイだから、ゲイの人が来やすいバーにしたいと思いますね。ゲイ同士が仲良く楽しく出来るのが良いかなって思ってますけど。ただやっぱりノンケさんも確実に存在するので、ゲイとノンケが境界線なく仲良く出来る場所になったら良いかなと思います。結構ノンケさんが増えたらから二丁目自体に来にくくなったみたいなことも聞いたりするので、そういう嫌なイメージとか来にくいイメージがなくなっていったら良いかなって思いますね。そしてゲイ同士のいいアンダーグラウンドさも残しつつ、お客さん同士が友達になったり、それ以上の関係になったりして (笑)、楽しく飲める場所であって欲しいなって思います。



“都会の中心に田舎のスナック？” (掲載号:2019年7月号) 鳴り続ける鐘の音と、深まっていく人間関係”



04 SHUN さん

10count

東京都新宿区新宿2-15-13
茂美ビル1F
TEL 03-3341-7743
営業時間 月~木19:00~翌4:00
金土日20:00~翌4:00
定休日 不定休
Twitter@10count2

Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください！

SHUNさん: 去年帰られたオランダから来ていた女の子と、最初日本語が全然喋れなかったのに、一年通して毎週話しているうちにすごい日本語が上手になって、日本語で「毎週優しく接してくれてどうもありがとうございました」みたいな感じで帰る挨拶を受けたときに、ちょっと2人で半べそになってしまっ(笑)。そういう毎年毎年変わっていく中で、みなさんとの時間を大切にしていながら、この街や、こちらお店もHIVの予防啓発のために協力しつつ、人間関係が出来ていく美しさみたいなことが一番印象に残っているかな。

Q: お店の中でのお客さんから相談などはありますか？ (HIV/性感染症等)

SHUNさん: これはね、本当にもっと昔の話ですよ。役所に一緒に付いていったこともあるし、今はいっぱいお店の軒数あるけど、自分たちが若い頃って、若い子が飲みに行けるお店ってそんなにいっぱいなかったので。お店の中の人たちが、みんなが兄弟であったり親であったり、コミュニティってやっぱり家族的なものであったので。店のママさんたちとか、自分

もそうだけど、泣いているの引張って手帳もらいにいたりとかは何度もありますね。

デリヘルくん: そう考えると、お店の人たちの役割というか、人生の結構大事な部分を担っていたんですね。

Q: お店の名前 (10count/テンカウント) の由来はなんですか？

SHUNさん: お店を開けたときに大好きな女子プロレスラーがいて、その人が辞めるってなったときに、引退のゴングが10個鐘を鳴らすっていうのと、あとその当時は十年一昔って言われていたので、まあ十年一昔で、一昔になれば良いなって。そんな感じで10個鐘を鳴らせたらなってお店開けたんですけど、今26個目なので嘘つきって呼ばれてます(笑)。

デリヘルくん: (笑)。でも目標は達成されたんですね。

SHUNさん: もうお陰様で。自分がこの街で若い頃からお店で働いて、自分のお店を開けて10年くらい経って、若い頃からお飯を食べさせてもらって。どうやったらこのコミュニティに還元していけるのかなってところから、色々なものに対して力を貸していくって自分に変わっていったのかなってのはすごい思いますよね。

Q: 今、お店で (または個人的に) 流行っていることはありますか？

SHUNさん: 今お店が26年目で、オープンからのお客さんが割くくらい残ってるんで、40~50代の人たち...まあ20代の子たちもいるけども。一番はやっぱりゲイが直面する例えば、退職前の人たちとか、介護のこととか、自分の保険だとか(笑)。「今後10年、20年後の自分はなんだだろう」って話を、色々な年代の人たちと共に会話になっていくってのが一番うちの店の流行りと言うか、生きてくことみたいな。

うちのコンセプト自身が「個性と会話の飛び交うお店」なので、個性が一番大切みたいな、会話出来るのがもっと大切みたいな。その会話も面白いことではなくて、自分のことを誰かに伝えることが出来るということをBARで怒涛のように飲みながら上手になっていけば、社会生活もイコールじゃない?みたいな。

みんな昼間働いたお金を持って遊びに来てくれる分、お客様を楽しませるっていうのは、全員に出来ることではなくて、好き嫌いもあって当然だし、何か間違えたりしたら「ごめんね」とか、お金は返せるけど、交通費を使ってこの店に向かってきてくれた時間って返せないんで、本当にその時間への感謝と、せめて嫌な思いをしないで帰ってもらいたいっていうのを自分のコンセプトで26年続けてきてますね。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか？

SHUNさん: LGBTっていう言葉が横行する中で、尚一層マイノリティになっちゃってる人って多いと思うんだよね。なので、そういう人たちの受け皿であるというのもまた二丁目だと思うし、情報を発信する立場でもあるけども、その情報から漏れる人たちのカバーしてあげるっていうのも二丁目の一番大切な場所だと思っています。

あと、大人になると続けていくことをすごく大切に「まあまあ色々あると思うけどさ」って守り役に代わるじゃん? 若いときって「これちょっとおかしいと思うんですけど」みたいな(笑)。「そんなの当たり前じゃん」って。で長くなっていくとなんとなくちょっと苦手だった人も認めちゃうって言うか「あんたとも長いからね~」みたいな。やっぱり続いていくってことは、コミュニティが広がり、人間関係も深くなっていくことだから。一人じゃないっていうことを分かってももらえる街っていうことで、今後も長く続いてってくれたらなっていうのが熱望してるところです。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

SHUNさん: 都会の中心で田舎のスナックやってます。個性と会話の飛び交うお店なので、ぜひ遊びに来てください。初心者からお年寄りまで(笑)。

“毎日が誕生日!” (掲載号:2019年8月号) 年を重ねて身につけた新たなスキルとは? ”



05

フジオさん

cream

東京都新宿区新宿2-12-2
リード富士ビル2F
TEL 03-3352-1315
営業時間 火水木日20:00~翌4:00
金土20:00~翌5:00
定休日 月曜日
www.creeaaam.com
Twitter: @fucchinpoko



Q: コンドームを置こうと思ったきっかけは?

フジオさん: なんか周り(のお店)も置いているし、うちも置いてもいいかなっていうのはありますよね。やっぱり意識というか、同性愛者が病気になるやすいっていうのもあるので、見えないものと戦うにはゴム一枚あると応援になると思います。僕が前の店にいたときから(コンドームを)もらっていたので、それでウチも持ってきて欲しいと言ったんだと思います。まあ正直タダでもらえるものなら有り難いって思っちゃったんで。

デリヘルくん: お店の中でSEXの話題になることはありますか?

フジオさん: ありますけど。人の感覚だと思うんですけど「生でやってる」って言い辛いんですよ。しちゃいけないとも思わないんですけど。昔はお客様で「HIVになっちゃった」って相談はありましたけど今聞かないので。まあ死ぬ病気じゃないっていう認識があるのか。昔は死ぬかもしれないけど今は死なない感じがして、病気になった人も昔は何人かいたけど、その人たちも死んでないし何も変わらないので。僕は結構歳を取ってるので、同年代は意識が高いっていうか、「生」ってキーワードも出せないと思うんですよ。

Q: お店の名前 (cream/クリーム) の由来はなんですか?

フジオさん: 占いをしてもらって、なんとなく強い言葉と優しい言葉の組み合わせが良いんじゃないの? って言われて。まあ色々「ハードキャンディ」って名前も良かったんだけど、当時マドンナが同じ名前のアルバムを出したんですよ。だから使えねーじゃんってなって、あと外国人からすると薬物的なスラッグなんですよ。それを勘違いされても嫌だし。「MAD CREAM」にしようと思ったんですけど、もう既に北海道に「MAD」ってお店があって。それで強い言葉と優しい言葉の優しい方だけ取ったって言うのが由来ですね。僕より年上の人々からはエリック・クラプトンのバンド名がクリームって言われたんだけど、全く分かんなかったし(笑)。洋楽好きな人はね、知ってるかもだけど。とにかくポワンとしたイメージが良くて、はい。

Q: お店のコンセプトなどあれば教えてください。

フジオさん: ウチはcreamってお店の名前の下に、neu kaos, neu noizって入っているんだけど、別に新しくもないしね(笑)。混沌と喧騒が新しい意味で欲しかったん

ですが、今は新しくないので。そもそも、ゲイバーって暗くて陰湿なイメージがあったと思うんですけど、そういうのを払拭したかったんです。でも、結局ゲイバーってホモ的には暗くて淫靡なほうが良いのよって(笑)。

Q: 5年前にもインタビューさせていただきましたよね?

フジオさん: はい、インタビューしましたね。

デリヘルくん: その当時の質問で「お店をオープンしてから何か面白いことありますか?」と聞いていますが、同じ質問をしても良いですか?
フジオさん: 面白いことかどうか分かんないけど、歳を取ってくると人のことを考えるって言うか、人の気持ちになれるというか、その気になった方が良いのかなって変なスキルを覚えしました(笑)。

デリヘルくん: ちなみに5年前は「ない」と回答されていました(笑)。

フジオさん: 今言った通り、全然気にならなかったから、多分「ない」で答えたんだと思う(笑)。そっか、そんな気遣いもなかったのね。

Q: また前のインタビューからお店に関して「変わらないことが大事」と答えていますが、現在考える今後のビジョンはありますか?

フジオさん: 変わらないことは未だに思ってるけど、でも10周年経つと、柔軟っていうか。

デリヘルくん: オープンから変わらず貫き通しているものってありますか?

フジオさん: んー。まあ値段も変わってないし、消費税上がっても変えないつもりだし。あんまり無いですね。歳取ったくらいかな(笑)。

デリヘルくん: その当時は「カラオケはやらない」「飲み放題もやらない」って回答していましたけど。

フジオさん: あ、でも周年は飲み放題だったんだよね(笑)。なんかそういうのも意識しちゃったので。そんなこと書いてたんだ? まったく覚えてない(笑)。…すいません。まあカラオケはね、ない店を選んでしまった以上、カラオケはないです。飲み放題は周年とかだったらしょうがないよね(笑)。

Q: 過去インタビューに出た後、周りからの反応はありましたか?

フジオさん: えー、それも全然覚えてない(笑)。でもそれを見て来たって方はいましたよ。で、未だにこの時の(体型)が良いって人がいるけど、「もう諦めた方が良くんじゃない?」って言いますね(笑)。別人でしょだって。この時は40代前半で今は40代後半なので。昔のことを言われましても今は困ります。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

フジオさん: 6月末に周年がありましたが、なんなら気持ち的には毎日が周年です(笑)。毎日誕生日みたいなもんです。

デリヘルくん: (笑)。今回もインタビューありがとうございました。



“DJは怖くない!! (掲載号:2019年9月号) 二丁目のクラブシーンの変化とコミュニケーション”



SEVENTH

 東京都新宿区新宿2-15-13
 木村ビル2F
 TEL 03-6273-2528
 営業時間 平日20:00~
 金土祝前日20:00~翌5:00
 定休日 月曜日
 Twitter@7th_2015

06 DJ KAWAMURA さん

Q: コンドームをキッカケにお客さんと会話になることはありますか?

DJ KAWAMURAさん: 「こないだ出たパッケージの絵可愛いよね」とか、そういうことから話題になりますね。「今日使ってください、持っていきな!」とかは言いません(笑)。

デリヘルくん: お店の中でSEXや病気の話題になることもありますか?

DJ KAWAMURAさん: 検査行ってるの?とかそういう話までは仰々しくしませんけど。検査に行っていない若い子とかもいたりして、そういうのを聞くと、もうちょっと自己防衛というかした方が良くなって思ったりはすることはありますね。年配の人だと周りに何人かHIV陽性の人がいまして、こうだったからちゃんとしなよって若い子に言ったりしてることもあります。うち客層が幅広いので若い子とおっさんがそういう話をしてたりとかは結構ありますね(笑)。

Q: お店の名前 (SEVENTH/セブンス) の由来はなんですか?

DJ KAWAMURAさん: これいつも聞かれるんですけど、単純に僕「7」が好きだったんですよ。で、セブンスだと某コンビ

二っぽくて嫌だなーと思って(笑)。でも7は使いたくて。僕が二丁目と働いてから、若い頃も含めると、ここが7番目のお店だったんですよ。だからセブンスにしようかなってのがまず1つ。あと僕アニメが好きで、エヴァンゲリオンが7番目の使徒が音楽を司る天使なので、僕DJもしてるので丁度良いかなと思って。

Q: 過去と現在でクラブシーンの変化はありますか?

DJ KAWAMURAさん: 遊び方が変わったのは1つあると思います。昔はアプリも無ければ、出会いの場も無いし。二丁目と飲むクラブで遊ぶかみたいな感じだったんですよ。今は毎週大きいイベントがある訳ではないので、若い子たちにはもう少し昔の良かった時代を味あわせてあげたかったなと思いつつ…。二丁目のイベントも、最近ちょっと細分化されすぎてるような気がするんですよ。エロ重視とか。そういう付加価値がなければ行かないっていう子たちや、単純に音楽が好きで音楽がかかるクラブで遊びたい!って子がちょっと減ってるのかなあと思いましたね。今ネットでダウンロードとかすぐ出来ちゃうから(笑)。昔はCDショップに行ったりとか、DJの人がかける曲ってのは実

はCDで売ってなかったりとか。そういうのを聴きに来る子がすごいっぱいて。今はiPhoneとかの発展に伴い、コミュニケーションがちょっと減ってるかなって感じはしますね。

デリヘルくん: そうかもしれないですね。

DJ KAWAMURAさん: DJの人怖いから話しかけられないって言われるけど、そんなことは実はないし。そういうコミュニケーションを取ってくれば、もっといいイベントになるのになあとか思ったりはしますね。



Q: プライベートでもDJプレイをしますか?

DJ KAWAMURAさん: 音楽は聴きますけど、プレイはしないですね。でも曲あさが大変で、気がつくとき3時間とか4時間とかずっと曲を探してたりするんで。昔のレコード屋の方が良かったですね(笑)。閉店時間が決まってるじゃないですか。あとレコード屋の店員さんがコレ良いですよっていくつか持ってきてくれて、それを聴いたりとか出来たんで。今はダウンロードのサイトとかで視力も落ちてきてるのになんか見ながら、同じような曲が何曲も続いている中1回1回聴きながらやっていると、あっという間に時間が過ぎちゃって、それがちょっと辛いんですね。なのでプライベートで音楽聞く時はだいたいダウンロードしてる時ですね(笑)。

デリヘルくん: 時代を感じますね。

DJ KAWAMURAさん: 本当そうなんです(笑)。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?

DJ KAWAMURAさん: 僕が二丁目始めた頃ってのは本当にiPhoneみたいな出会いツールとか使えるようなものも無ければ何もなかったんで、二丁目自体にゲイが集まった時代だったんですけど。今はアプリとか、そういうもので出会いが簡単に…簡単になってのも変だけど。まあ気軽に求められるような時代になったので。飲みに出てこない子たくさんいると思うんですけど。そういう子たちには逆に飲みに来てほしい。待ち合わせで使うとか、飲みに来なくても良いので。変な話、愚痴を言いつつ「こういう人と出会ったんだけどさ」とか、そういうのでも良いですし。気軽に話が出来るところを見つけてくれたら良いかなと思いますね。昔に比べると今はLGBTQの事がすごくTVとかで出てしまったが故に、昔みたいな隠された淫靡な街の雰囲気ではなくなってしまっていて、それも時代だとは思いますが。僕らにはこういう街って大事だったりするんで。今後は上手いバランスで付き合っていければ良いんじゃないかなと思います。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

DJ KAWAMURAさん: 基本的に30~40代が多くて、20代の人もそこそこ来てくれたりするんですよ。割と年齢層広いので、色んな話が聞けるし、たまに大人に愚痴言ってみたりとか。お酒と共に楽しんでくれるような店にしたいなとずっと思ってたので。色んな繋がりを作りに来て下さい。

66 脱ぎ系バーではありません! (掲載号:2019年10月号) BACKROOMの名前の理由とは? 99



07

いちろうさん

BACKROOM TOKYO

東京都新宿区新宿2-14-13
ユニビル203
TEL 03-3356-9372
営業時間 21:00~翌5:00
定休日 月曜日
(月曜日が祝日の場合は火曜日)
Twitter@ichirobear



Q: コンドームを置こうと思ったきっかけは?



いちろうさん: もともと、他のお店で店子経験があって、そのお店がデリバリーボーイズのコンドームを置いていたので。お店をオープンするにあたって絶対あった方が良いなと思ったので、お店の近くに来たときに「今度お店をオープンするので、もしあれだったら、持ってきてもらえませんか?」って言ったのが始まりです。



Q: お客様のコンドームへの反応がありますか?



いちろうさん: コンドームのパッケージが可愛いじゃないですか。うちはアジアのお客様とかも多いんですが、向こうには売ってないので、「コレ可愛い」とか言って持って帰られる海外のお客様はいらっしゃいます。
デリヘルくん: コンドームをキッカケにセックスの話題になったりしますか?



いちろうさん: ゲイバーなのでセックスの話とはなりますね。みんな趣味趣向があったりとか、こういうのがあったとかって話はします。



デリヘルくん: そういう会話の流れで、性感染症の話に発展することはありますか?

いちろうさん: いつもではないですけど、時々そういう話になったりします。うちは30代~50代がメインだったりするので、長くゲイ生活をしているとA型肝炎や梅毒とかになった経験がある人がいるので。そういう話になったりはします。



Q: お店の名前(BACKROOM/バックルーム)の由来はなんですか?



いちろうさん: うちの店名が「バックルーム」って言うんですけど、聞いたことのないお客さんは友達から「バックルームに行かない?」って言われると、ハブニングバーや脱ぎ系的なイメージを持たれるんですけど至って普通のゲイバーです(笑)。僕は9年間ほどマレーシアのクアラルンプールにいたんですよ。そこにバックルームクアラルンプールっていう、3年くらいやってたノンケのクラブがあって。2つフロアがあって、半分はゲイ半分はノンケみたいなクラブなんです。そこでいっぱい遊んでいて思い出があったので、バーを開けようって思ったときにお店の名前は決めていたんですよ。バックルームにして、ここは東京なので、「バックルームトウキョウに」(笑)。でも脱ぎ系の他店さんと間違われることはよくあります。普通のゲイバーなので安心して下さい(笑)。



Q: 今、お店で(または個人的に)流行っていることはありますか?



いちろうさん: 今ハマっているものは、「POSE」っていうアメリカのドラマなんですけど。1980年代中頃くらいのニューヨークを舞台にした、トランスジェンダーが主役で、俳優さんもトランスジェンダーの方が演じていらっしゃるんですよ。ああいう時代なので、家族とか、性転換手術であったりだとか、80年代だからHIVっていうのも死の病っていうイメージが強かった時代のストーリーなんです。それで、ボールっていうクラブみたいところで、衣装とか踊りとかを競うっていうのをベースに時代背景のいろんなトピックが入って8話くらいなんですけど、コレが今ハマっています。コレめっちゃ面白いです。

デリヘルくん: それをお店でも流しているんですね。



Q: ハズキルーベの写真が衝撃的だったんですが、アレは周年か何かで披露されたんですか?

いちろうさん: 周年パーティーのときに、ハズキルーベコマースパロディの動画を撮影したんですよ。

デリヘルくん: いろんな衣装の写真が多くて、T.M.Revolutionの写真とかもあって。

いちろうさん: T.M.Revolutionもやりましたね(笑)。周年とかバースデーとかはコスプレしていたり、衣装とかしています。ヒゲを剃るの嫌なんですけどね(笑)。ヒゲを剃ってから5日間くらいは外出るときにマスクしています。

デリヘルくん: (笑)。

いちろうさん: 嫌じゃないですか?(笑)



デリヘルくん: どれくらいで生え揃いますか?

いちろうさん: 1週間ちょっとくらいでは生えてきますけど。もうずっと長くコレ(髭)なので。下をパイパンにするか、ヒゲを剃るかって言ったら全然下をパイパンにした方が良い。

デリヘルくん: (笑)。

いちろうさん: 落ち着かないよね。でも他の人はそんなに気がついていなかったりするんだよね。ぱっと見たら、あれ、なんか今日違うなみたい。言ったら、ああっていう人はいるけど(笑)。でも自分的になんとなくいつもあるものが、顎を隠しているの。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?



いちろうさん: 今は(二丁目は)観光化しているかもしれないんですけど、でもあまり観光地化はしてほしくないなって言うのが希望で、ノンケとゲイとレズビアンが上手いバランスで共存できたらなって思います。最近はテレビの影響で、スマホ片手にノンケの女の子2~3人組で歩いていたりとかすると、見られたくないゲイの方は出づらくなって来ちゃうのかなって言う



思いはあるの。いなくなれとは言わないんですけど、上手いバランスを保ってあげればなとは思っています。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。



いちろうさん: 別に体型とか縛りなく幅広く受けているので。ただお客様の年齢層が30代後半~50代前半がメイン層になっちゃうのかなって感じですが、落ち着いた店ですので気軽に飲みに来て下さい。

茶番ベルは浄化のアイテム？ 男の夢が詰まった二丁目の城

(掲載号:2019年11月号)



08 Jo-maさん

Castle

東京都新宿区新宿2-18-1
第七天香ビル4F E号室
TEL 03-6380-6869
営業時間 21:00~翌5:00
定休日 不定期
castle2012.web.fc2.com

Q: コンドームに対するお客さんの反応は？

Jo-maさん: ノンケさんがメインなんですけど、「無料で置いてある」ってすごい喜んでくれます。ゲイの方にはもう当たり前前の風景で、いつも持って行くときに「ローションないじゃん」って言うんですけど、「それくらい自分で買いなさい」って言ってます。でもたまにローション付きのコンドームもあって、そのときはすごい助かってます(笑)。

デリヘルくん: コンドームをキッカケにセックスの話に展開することはありますか？

Jo-maさん: 当店はガンガン下ネタとかセックスについて話すんですけども。その理由として、会社とかだとそういう話をした時にセクハラと思われるわたり、不愉快に思う方が多いです。こういう街に来て下ネタとか、踏み込んだ話が出来るところでありたいなって。なのでそういう過激な話はちょいちょいしてます(笑)。そういう中で悩みとかも聞いたり、お互いの経験談なんかを共有して、お互いに活かせたらいいなって思いで話したりしてます(笑)。

Q: お店の名前 (Castle/キャッスルお) の由来はなんですか？

Jo-maさん: 当店「Castle」は、お城って意味で作ったんです。私の本名に「城」っていう漢字が入っていたり、お城って1個1個ブロックで頑丈に作るものなので、お客様との仲も頑丈に築き上げて行けたらなって意味を込めて付けさせてさせて頂きました。

デリヘルくん: カッコいい〜(笑)。この名前からコンセプトをしっかりと固めているイメージがあります。

Jo-maさん: そうですね、ちょっと中二病じゃないですけど、秋葉原の「武器屋」って店で剣とか斧を買ってきて(笑)。結構こういうの男の夢じゃないですか？ お客さんにもたまに誰もいないときに外して持たせてあげたりしてます。男の子としては持ちたいじゃないですか？(笑)

デリヘルくん: 持ちたいですね(笑)。あとTwitterでスタッフのことを「戦士」と呼ばれているのを見ましたが。

Jo-maさん: そうです。今日もバイト募集しました。「戦士、僧侶、魔法使い、遊び人募集」って書いたんです(笑)。ドラゴンクエストってあるじゃないですか？ 盗賊っているじゃないですか？ 盗賊はいらないじゃないですか(笑)。

Jo-maさん: そうだから戦士、僧侶、魔法使い、遊び人で(笑)、遊び人は将来賢者にしようかなみたいな。

デリヘルくん: なるほど(笑)。

Q: 食べ放題系のイベントもやっていきますよね？

Jo-maさん: たまにですけど、夏場はそうめん食べ放題。たまにお好み焼き食べ放題とかやりましたね。

デリヘルくん: 結構食べられる方が多いんですか？

Jo-maさん: 意外にみんな食べに行っちゃったりして、こっち結構用意してたのに残っちゃったりして(笑)。閉店後とかにみんなで頑張ってるんですけど、店内にあるお菓子も食べ放題にして、好きに取っていただいて感じてやってます。

デリヘルくん: そういう食べ放題をやると思ったキッカケはなんですか？

Jo-maさん: 結構低料金…500円とかで食べ放題にしてるんですけど、利益じゃなくて、お客さんがみんなで楽しく食べれたら良いなと思って。僕の手作りなんですけどね(笑)。

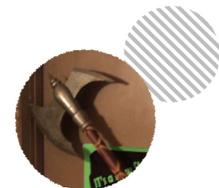
デリヘルくん: 今あるか分からないですけど、前はフードメニューがありましたよね？

Jo-maさん: あ、今フードメニューなくしちゃったんですよ。理由は出前が普及しちゃって、結構良い出前が多いので辞めよくなって。もう全部缶つま系にしちゃいました(笑)。開けるだけなんで。



Q: このテーブルに置いているベルはなんですか？

Jo-maさん: このベルは茶番ベルっていうベルなんですけど、普通に会



話して茶番だと思ったら(チーン)みたいな(笑)。例えば、良くやられるのが、「どうもはじめましてJo-maです。出身は…」(チーン)みたいな(笑)。

デリヘルくん: 強制的に会話を切られちゃうんですか？(笑)。

Jo-maさん: 逆もあって、お名前なんて言うんですか？「〇〇でs…」(チーン)とかやると盛り上がるんです(笑)。これもう数十年前から置いてるんですけど、某番組より先にやってるんです。そしたらアチコチに普及して、チンチンチンチンやってるんですけど、やっぱチンチンで空気を浄化していかないと。

デリヘルくん: 浄化だったんだ(笑)。

Jo-maさん: 音又と一緒にチンチンやると「あ、浄化されました〜」って。それを女性の前でやるんです(笑)。

デリヘルくん: 最高ですね(笑)。それが各テーブルに置いてあるのが良いですね。

Jo-maさん: 基本一人1個で、ない場合は自分のチンで鳴らして下さいって言って。せーのって言って俺が(ベルを)叩いてあげるんですけど、せーのって言って叩かないって(笑)。みんな鳴らないってことをやっていじってますね(笑)。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

Jo-maさん: 当店は短髪系、前髪系、太ってる方、細い方、関係なしにみんな飲みに来てくださる店です。ちゃんとマナーがある方が多いので、マナーを持って人と接したり、飲める方を大歓迎しております。なのでぜひお越しただけならと思います。

“今、明かされる!デリバリーボーイズの起源 コンドームを置くような二丁目になるまで”

(掲載号:2019年12月号)



LeoLOUNGE TOKYO

東京都新宿区新宿2-14-16
タラクビル2F
TEL 03-5341-4380
営業時間 月18:00~翌3:00
水20:00~翌5:00
木~日18:00~翌5:00
定休日 火曜日

09

(左) 福島光生さん (右) Naoさん



Q: デリバリーボーイズ訪問時のエピソードを教えてください!



福島光生さん: 最近はお茶もジェンダーも性別も全部フリーというか、色んな人がいるでしょ? 年代も様々だし。だからもう本当に面白い。でまあ僕はお茶を出させてもらって、それでちょこっと話しが出来るときはするんだけど。

デリヘルくん: お茶を出すようになったキッカケはあったりしますか?

Naoさん: 夏場とかはみなさん階段上がって来られるから結構暑いんですよね、もう汗だくなってるからお茶を出さずにはいられないという(笑)。とりあえず何か飲んでいきなみたいな感じですね。みっちゃんはそのもも習慣だったよね。

「mf(メゾフォルテ)」時代から。福島光生さん: そうそう、mf時代からコンドームをサプライするって運動を僕らはもともと始めてたわけですよ。何店かの有志と協賛してくれるところがあって、無くなったらmfに取りに来るってシステムでやってただけでも。でもそうなるよね「mfさんに飲みに行っていないからコンドームだけ取りに行きにくい」だとか余計な気動きがママ同士で働いちゃったりとかして、それで僕がまた届けるってことをしても良いかなって

思ったんだけど、それをやると逆にまた悪がられちゃったりして。だからとてもニュートラルなポジションでコンドームをサプライしてくれる人たちがいたらとても良いなっていうのは僕らが思ってたことだったの。それでaktaさんが出て、まさに僕たちがやりたいことをやってくれた、コミュニティにいつもコンドームがちゃんどあるっていう環境を作ってくれたってことで、僕はとても有り難いことだったの。だからご苦労様ですってことなのよ(笑)。



Q: コンドーム設置「Project.com」について教えてください!

福島光生さん: とにかくコミュニティにコンドームを置きたいという

思いで、仲の良いマスター連中が集まって始めたんだけど。僕は文章書く事が仕事だったので、何故コンドームがコミュニティに必要なのかっていうことを書かせてもらって。結局は見えて見ぬ振りというか、無いものになっているということはどれだけ危険なのか。結局感染して健康被害が出たらその人たちは飲みに来なくなるとか、経済的に逼迫するとか。そうなったら僕らのビジネスが危ないんだよっていうことを広告手法的に話しをして(笑)。

20数年前の当時は飲食店でセックスの話とかコンドームの話をするのはとんでもないっていう人たちがいたし。まだまだ意識としてあんまり考えてない時代だったので。そういう文章作って、その時に声かけられるお店に集まってもらって、その文章渡してコンドームを置くような二丁目にしましょうって。それでその「Project.com」のロゴを作ってもらって、僕がコピーを考えた「安心できると、もっと感じる。」ってやつをポスターにして、でコンドームを配ることにしたけども、取りに来てもらうことしか出来なくて、お店の負担が大きくて定期的に置いてくれるところはまだまだ少なかったかな。それが「Project.com」の最初です。



Q: お客様のコンドームへの反応ってありますか?



Naoさん: 海外のお客様なんかはコンドームのパッケージ面白いねって言ってたり。日本ってアニメ、イラストのイメージがあるから、そういうパッケージとか面白がって「コレ良いね」って言うてる人もいます。あなたのサイズありますか?とか言って。伸びるから大丈夫だと思います〜とか(笑)。

デリヘルくん: コンドームキッカケに店内で会話になることもありますか?

福島光生さん: Naoくんがパッケージになってたこともあるからね、その時はみんなワーワー言ってたね(笑)。

Naoさん: 2015年くらいかな?それを保存してるって人がいて、使ってた(笑)。



Q: お二人でお店をやりようと思ったキッカケはなんですか?



福島光生さん: 16年続けたけれど、僕も疲れてしまっていて辞めようって思ってた。そしたら彼(Naoさん)の会社の社長が



度々来てくれて、当時渋谷で「GATE」というお店をやっているけど24時以降の集客が難しく、伸びしろが無いんだよなって話をしていた…。Naoくんも20年以上前から知り合いだし、ウチの家族も知ってるし。彼が親御さんにカミングアウトした時に、親御さんが慌てちゃったんで、ウチに連れてきてウチのお袋と話しをしてるとか、そういう経緯もあったりとかして、じゃあ一緒にしようみたいな話しになって(笑)。

Naoさん: もう20年ずっと知り合いというか友達というか、先輩でもあるんですけど。だから自分は一緒にお店をやること自体は「面白いかもね」って感覚だったのに、意外と最近はその二人の関係性をしらない人が増えてて。それこそ15年前だったら「Naoくんmfで飯食ってたよね」とか知ってるんですけど。

福島光生さん: 古い人たちはね。Naoさん: その後知り合った人たちはあんまり…。何故か「何の関わりがあるんですか?」みたいなこと言われて変な心配されましたけど(笑)。普通に知り合いだし、親同士も知ってるんだけどなんか思ってた(笑)。

福島光生さん: だからもうNaoくんのお母さんなんかは一緒にやって聞いて「安心しました」とか言ってたけど(笑)。

『「うちのちんこの本は良い本が多い」 (掲載号:2020年1月号)』 ホモ本ブックカフェのこだわりラインナップ



10

小倉東/マーガレットさん

ホモ本ブックカフェ
オカマルト

東京都新宿区新宿2-18-10
新千鳥街
TEL 03-6380-0280
営業時間 日~木13:00~22:00
定休日 金、土曜日
Twitter@cafeokamalt

Q: デリバリーボーイズにどのような印象をお持ちですか?

小倉東/マーガレットさん: いつも金曜日に回って下さってるけど、うち金曜日がお休みのことが多いので、なかなかすれ違いますが多いんですが。みなさんとても感じよくて、可愛い子いるよね(笑)。指名出来れば良いのに(笑)。それなら金曜日に店開けても良いや(笑)。

デリヘルくん: デリバリーボーイズって名前により近くなってきましたね(笑)。

小倉東/マーガレットさん: 名前通りに(笑)。冗談はさておき。

デリヘルくん: お客様とデリバリーボーイズについて会話するようなことはありますか?

小倉東/マーガレットさん: aktaのことを含めてだけど、相対的にうちは話題に上がることは多いと思うよ。二丁目初心者というか、本当に二丁目に来たことない様なお客様が多いので。その人たちへいろんなことを説明するとき、aktaというところがあって、これからそこ覗いてごらん下さいとか。そういう形で話題には上がるので。

でも具体的にHIVやエイズのことがカウンターで話題に上がるかっていうとそうでもない。aktaという場所で説明すると、割とみんな「ほう、そんなところが!」とか言いながらも、aktaに入る

のは抵抗があるって子が多いの。HIV/エイズの施設ってなると、「自分関係ないから行ったら申し訳ないかな?」みたいな気持ちになるのかもしれない。

デリヘルくん: 誰でも入れるので来て欲しいですね。

Q: 店内の蔵書はどのように収集されたんですか?

小倉東/マーガレットさん: 収集は20年以上買い続けて来たものなので、特別店のために仕入れたりとかはたないですね。例えばある大学の本棚を見ると、真面目そうな本ばかり並んでいるし、それはそれで良いことだと思うんだけど、でも同性愛とかゲイの総体を見渡すのに「ホモが全員フーコーを読んでいるわけじゃないからね」とかって、なんか頭の良さそうな本ばかり並べている人もいるわけじゃない。かたやエロ本ばかり並べている人もいたりして…。ここはなるべく様々なゲイにまつわることを、とにかく本になっていたら突っ込んでいくっていう。それをやりすぎちゃったから本棚が雑然としすぎちゃって、ちょっと仕切りを入れて区切るようにしたんだけど、なんか良くないですか(笑)。



Q: 仕切りの「家族」の隣に、「ちんこ」ってありますか?(笑)

小倉東/マーガレットさん: あんまり意図はないけど(笑)、ウチのチンこの本は良い本が多いですよ。

デリヘルくん: (笑)。

小倉東/マーガレットさん:ほんとに、ほんとに。『股間若衆』っていう本は、美術史の中で男性器がどういう風に描かれてきたかを解説してきた多分日本初の本で、ちゃんと「薔薇族」とかのヌード写真についても論考があって、本当に素晴らしい本ですね。あと『ファロスの王国』はローマ時代に街中に立っていた男性裸像の股間だけが削り取られていたっていう事件があって、それを分析した本なんだけど。それがおそらく西洋文明の中でフェミニズムの一番最初はその事件なんじゃないかみたいなことを論じている本で、それはそれで面白い。

Q: 「ニチョヒル」について教えて下さい!

小倉東/マーガレットさん: 例えば自分のセクシュアリティが一番思い悩んだり、何か動き出そうとするのって13~15歳位じゃない。でもそういう子たちが決心して二丁目に出てきたら、今は昔ほど活気がないじゃない。それはちょっと可哀想だなと思うし、そういう子たちがどこかいられるお店があれば良いなと。丁度僕らの世代は「薔薇族」の第二書房が「祭」っていう喫茶店をやっていたの。そこはお昼頃からお店が開いて、そこに若い子たちがたむろしていたわけよ。で、そこではなんとなくコミュニティみたいなのが出来てきて、遊び仲間のグループになったりとか。テーブルごとにノートが置いてあって、みんなそこに好きなことが書き込めるわけ。

福島光生とかやっぱり文才があったんだろうね。必ず自分のノートに書き込みがあったらコメントを添えてたのよ。だからものすごい人気のノートで、何十冊と彼のノートがあったくらいよ(笑)。ニチョヒルねー。

デリヘルくん: ニチョヒルってワードがすごく気に入ってます(笑)。

小倉東/マーガレットさん: ニチョヒルは3年前から使っているんだけど、全然定着しなくて(笑)。

デリヘルくん: お昼でも二丁目のお店を回れるっていうのはすごい良いなって思います。

小倉東/マーガレットさん: そうなんだよね。どうせだったら太宗寺お参りしてこようよ、あそこに間魔様いるよ、とかそういう情報が載ってるやつがあったら嬉しいよね。ニチョヒルマップみたいなのが。

デリヘルくん:一緒に何かできたら良いですね。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

小倉東/マーガレットさん: 古い時代のゲイの資料とかを見ながらお茶が飲めるので、ぜひお茶飲みに来て下さい。

デリヘルくん: ありがとうございます。



“三丁目系から二丁目系へ 訳あり物件で見つけたラッキー” (掲載号:2020年2月号)



THE CLUBHOUSE

東京都新宿区新宿2-18-1
TWO FRONT BLDG 6F
TEL 03-6380-6694
営業時間 20:00~
定休日 不定休
www.theclubhouse.jp

11 rYoさん

Q: 店内で性感症について話題になることはありますか?

rYoさん: いっぱいあるよ。流石に「僕はHIVです」みたいな人はいないけど。性感症に罹ったことがある人はいっぱいいて、梅毒とかも男女問わず流行ってるじゃない? 若い子もそういう危機感を持ったほうが良いと思うしね。なんか性病いっぱい罹ったら男の勲章みたいなさ、昔のイメージあったけど。この間もある店の店子がすげーハッテン場行く子で、「夕チでガンガン掘って帰ってくるんです!」って「ちゃんとゴムしてんの?」って聞いたら「したことありません」って。「ん?」みたいなさ(笑)。しなさいよ! って言っても「僕夕チだから大丈夫です」って言う訳。そういう問題じゃないからみたいな。だから若い子にもうちょっと危機感じゃないけど持って欲しいなと思いましたね。

Q: テラスや座敷など、お店の内装に凝っていますよね。

rYoさん: テラスは、すごい面白い話して、ここが元々内装業者の本社ビルだったの。それで会社が倒産して夜逃げしたんですよ。夜逃げして競売物件になってフタミ商事が買い取ったんだけど。競売が終わって夜逃げした

後にフタミの社長と見に来たのよ。そしたらここ社長室だったの。最初テラスもなくて増築みたくして困ってあったからテラスだって知らなかったの。で、ここ増築してるから、これ屋根取っ払いたらテラスになるんじゃないかって言ったらテラスだったのよ。あらラッキーみたいな(笑)。



デリヘルくん: 夜逃げがあったんですね(笑)。

rYoさん: 他の階も全部見せてもらったんだけど、お茶も入ったまんま、ノート広げたまんまよ。もうよ〜いドン! はい逃げて!! みたな感じで(笑)。

デリヘルくん: (笑)。それにしても、カウンターも大きいですね。

rYoさん: 新宿三丁目にお店があった時代はちょっとラウンジっぽくボックスもいっぱいあっ

ただけど、二丁目に移転してからはカウンターメインにしたかったの。前の店はカウンター小さくて、6席くらいしかなくて。どうしてもボックスだと付きづらいつのがあって。カップルとかだと中々入りづらかったりするじゃない。もっとちゃんと接客したかったのね。ちゃんとお話が出来るような感じで。あと一人のお客さんが多かったのもあるかな。流石に一人で来てボックス席ってドトールでお茶飲んでる訳じゃないんだからさ(笑)。中々かそういう訳にはいかないじゃない。

デリヘルくん: 確かに(笑)



Q: 三丁目から二丁目への移転のキッカケを教えてください。

rYoさん: 移転のキッカケは三丁目のビルの建て替えだったの。実際もう移転して4年~5年目なんだけど、実際建て替えなかったの。なんだけど、建て替えるって前提で不動産の契約がなったから、いざ出ななきゃいけない。じゃあ出ましようってなった時に移転先がなかったら嫌じゃない? だからいざ移転するんだしたらと思って移転先を探したら、たまたまここが出てきたの。で、良いタイミングだと思って引越してきちゃったの。

デリヘルくん: なるほど! 移転したことでお客さんの変動はありましたか?

rYoさん: やぱり二丁目と三丁目の大きな違いは、川向うって言うだけあってやっぱ違うよね。結構ごろっと変わったかも客層は。意外とシャイニーに飲む人がいなくなったね。

デリヘルくん: 三丁目のときの方がそういう人多かったんですね。

rYoさん: 三丁目はみんなどこもかしこもオシャレにしてたじゃん。結構cafeっぽい感じ? 三

丁目系みたいな。そういう雰囲気があったけど。こっちはまったく無いよね、もう下品も品のうちですみたいな(笑)。良くなんか敷居高いと言われることもあるけど、全然そんなこと思っていないで、結構一人のお客さんも多いし。二丁目だとハシゴもしやすいからね。

Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?

rYoさん: だいぶ若い人が増えた気がするけど気のせいかしら? 若い子がやってくる店も増えてるし、その若い子が二丁目に出てくるのはすごい良いことだと思うんだよね。昔と違って俺が初めて二丁目来た頃はまだまだすごい暗い時代で、みんな「パディ」の広告の裏とか見ながらお店探して出逢い求めて出てきてたけど。そういう時代に比べると今はTwitterとかInstagramとかネットでお店を探すのでも、色々な前情報があるから来やすくなってるのかもね。この間も「ゲイバー2回目です!」ってネットで調べて来ましてって20歳の子が来てくれたんだけど、そういう子が増えてくれたらね良いかなと。いやでも20歳とかでよく「初めてなんです」って一人で扉開ける勇気もすごいと思う。そしたら周りの人が「初めて来てるんだ?」とかいって「俺のボトル飲みなよ」とかいってお酒もおごったりしてたり。最後ペロペロだったけど(笑)。

デリヘルくん: でもそういう繋がりみたいのがあると良いですね。

rYoさん: そうだよな、なんかやっぱ飲み屋文化っぽくて僕はそういうの好きです。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

rYoさん: うちは一人でも老若男女問わず来やすい雰囲気にはしてるはずなんです(笑)。なので、一人のお客さんも大歓迎です。

“前衛的な店内コンセプト! 内装は予想外!天井は計算外!!” (掲載号:2020年4月号)



12

アマソネス・ダイアン さん

AVANTGARDE TOKYO

東京都新宿区新宿2-10-3
高橋ビル2F
TEL 03-6380-0024
営業時間 水木日20:00~翌3:00
金土20:00~翌5:00
定休日 月・火曜日
aliving.net/AVANTGARDE

Q: コンドームを置きはじめたキッカケは?

ダイアンさん: 二丁目のゲイバーはアタシも遊びに行くけど、(コンドームが)置いてあるし。(コンドームを置くことが)少し当たり前だと思ってお願いしたところはあるかな。

デリヘルくん: 活動が浸透してきていると感じられて嬉しいですね。

ダイアンさん: 多分アタシの行くところ(店)には大体置いてあるから、ゲイバーにはあるものだと思って。意識的に置かせて下さいとか、何かの気持ちがあつてよりかは、置いてあるものだから置かせて下さいって思うところの方があつたかな。
デリヘルくん: コンドームを設置しての反応は?
ダイアンさん: パーカウンターに置いてあって、直接アタシがコンドームを渡すこともあるけど、とても反応は良い。使ってみるよなんて言われると「あ、どうぞご自由に(笑)」って、これからセックスの用事があるのねって。

Q: お店の名前 (AVANTGARDE/アバンギャルド) の由来はなんですか?
ダイアンさん: うちの会社って全部「A」から始まるの。だから最初にA

から始まる名前って言われたの。一番最初「Aでしょ? アマとかで良いかな?」って尼さんのアマにしようと思ったんだけど、なんか宗教じみてから嫌だって言われて。調べたら「AVANTGARDE」ってフランス語で「前衛的」って意味があつて。ママ女装やってるし、ピタリじゃないってことで決まったのが「AVANTGARDE」じゃあ分かりやすく東京って付けてこつてことで「AVANTGARDE TOKYO」(笑)。

Q: 店内が「前衛的」ですが、店内コンセプトはありますか?

ダイアンさん: アタシがもともと「ArcH」とかのイベントやってた人だから、このちっちゃいところで出来るくらいのイベントやっても楽しいかなって。あと分かりやすくインスタ映えるお店にしようって内装をピンクにしたの。これピンクでインスタ映えすると思うでしょ? 写真撮ると全部乱反射で赤くなっちゃうの(笑)。予想外(笑)。インスタ映えせず(笑)。

デリヘルくん: (爆笑)。オープンツイートもインスタのプーメラン加工で寝ってますよね!

ダイアンさん: よく見てるね。この頃息けて文字だけにしてるけど(笑)。最初はもうちょっとド

ラグっぽい衣装を毎日着ようと思ったの。ウィッグや頭飾りもポーってやってたんだけど。なんとこの天井低くてどこかしらぶつかるの。それもね計算外〜(笑)。



Q: 「女装市」というイベントについて教えてください。

ダイアンさん: もともと「AISO-TOPE LOUNGE」でやってたやつを、アタシも女装の知り合い多いから、一回やろうかなと思ったのがキッカケ。あと若い子増えたから、引っ張ってきてもらって(笑)、それで若い子たちに買ってもらえれば良いかなって。別に上げ〜とかそういうのは1ミリも無いけど、やっぱり若い子育ててかないと。あとアタシが見て良いのあったら買うくらい(笑)。

Q: ダイアンさんが女装を始めたキッカケは?

ダイアンさん: アタシがもともと北海道出身で、今はもうないんだけど「北海道レンボープライド」があつたの。まだアタシが19くらいの時にカメラ片手に遊びに行つて。未だに覚えているんだけど、エスムさん(エスマラダさん)を見て感動したの。だからエスムさん見てやろうと思ったのがキッカケ。

デリヘルくん: ダイアンさんの中での女装する意味みたいなものってなんですか?

ダイアンさん: お店やる前は女装することに色々ワクワクもあつた。けど一回お店ついちゃうと正直な話、ちょっと女装は見失ってる。たぶん10年もやってるから、ちょっと飽きてきてるんだと思う。でも嫌いじゃない。丁度気持ちが落ちてる時期なんだと思う(笑)。やっぱりプライベートでやってるのが一番楽しいわよ。無責任だし。でもやっぱり女装してることに愛はあ

るかな。多分今は目減りしてるだけで、多分また復活してくると思う(笑)。

Q: 店内でSEXについて話題になることはありますか?

ダイアンさん: まあしないこともないかな。あんたウケなんでしょ? みたいな話もしてたし、SEXの内容については話さな。

デリヘルくん: そういった話題になったときに、その流れで性感染症の話題になることもありますか?

ダイアンさん: この前生でヤっちゃったって話も聞くけど、そりゃあんたの自由だし、「検査行きなさい」とは言うけど。そこの部分に関しては、しるって言うても本人の自由もあるし、だから強くは言えないけど、認識を持ってやってるんだつたら良いんじゃない? って思う。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

ダイアンさん: うちほぼ観光バーなんだけど。ボックス(席)でやってるから知らない人同士が隣り合うことがとても多いの。まったく異業種で喋り合ったりもするし、うちのスタッフも異業種ばかりだから、来たら色んな人と喋れて楽しいと思う。そういうのが楽しい人はぜひ遊びに来て欲しい。

デリヘルくん: ありがとうございます。



“Penguinに隠された 2つの運と協力のカタチ” (掲載号:2020年8月号)



Penguin

東京都新宿区新宿2-18-10
新千鳥街1F
TEL 03-3352-4406
営業時間 平日21:00~翌3:00
金土22:00~翌4:00
定休日 月曜日
plaza.harmonix.ne.jp/
~sunsun/barpenguin/

13

アキさん

Q: コンドームを置いてみてのお客さんの反応は?

アキさん: うちの場合はコンドームの減りが少ないんですよ。だけど募金はみんなしてくれるの。(HIVで)お友達が亡くなってらっしゃる方が多いから、そういうカタチで協力していこうって人が多いんじゃないかなって気はしますね。もともとこの活動がある前から、コンドームは個人的に用意して、欲しい人にはあげてたので。みんな持っているんじゃないですかね。

デリヘルくん: コンドームを個人で渡してたんですか?

アキさん: そうです。日本ではエイズの認識もあんまりない頃で、ただ本当にアメリカがすごかったの。いつか日本にも来るだろうなと思って。ただこういうのって強制はなかなか出来ないから、欲しい人がいたらってカタチで、アメリカにいたときの話しながら。

Q: お店の名前 (Penguin/ペンギン) の由来はなんですか?

アキさん: 僕、心臓が悪くて、お医者さんに5年くらいを見てほしいって言われたの。最後の一年に好きなことをやりたいなと思って、相談してここをやることにしたんで

すけど。その当時、パインツリーというこの前のマスターに、5つくらいお店の名前を列記して、この中から選ばようと思ってるんだよねって言ったら、そのマスターがバツと見て「アキちゃん、これペンギンにしなさい」と。なんで?って効いたら、水商売って破裂音とか、義濁音があるのが良いんですって。それからペンギンで「ん(運)」が2つあるから、何かで失敗しても、もう一つの「ん(運)」があるから、それでどうにかやって行かれるんじゃないのって。もうまったく迷信ですよ(笑)。

デリヘルくん: いやいや(笑)。ちなみにアキさんの一番候補はなんだったんですか?

アキさん: 一番はね「ラクーン」ってお店にしたかったの。アライグマの英語。それならいま向かいの店がラグーンさんで、レズビアンバーなんだけどね(笑)。その頃こっちの世界ではちょっとした子熊ちゃんブームというかさ(笑)、そんなこともあってそれにしたかったんだけど、もうあえなくコレにしなさいでした(笑)。

デリヘルくん: (笑)。ホームページでもペンギンの気ぐるみを着たアキさんのイラストが載っているので、ペンギンのイメージがすごいです。

アキさん: そうなんだよね、でもその頃はあんまり太ってなくて。だけどペンギンのイメージって

なんかちょっとぼっちゃりって感じて。絵を描いてくれた方たちも、みんな太く描くんですよ、嫌になっちゃう(笑)。

Q: お店の中でのお客さんから相談などはありますか? (HIV/性感染症等)

アキさん: 昔はね、ちょっとなっちゃったんだけどか、それはHIVに限らず、他の病気でもね。今は本当に皆無になっちゃった。今の子ってみんな調べるじゃない?でも、ちゃんとした情報だけじゃないからちょっと怖いですよ。

デリヘルくん: 昔は結構あったんですか?

アキさん: 昔は本当に、かかっちゃった人は死に直結する問題だったから、どうしたらいいんだろうってのはすごいありましたよ。お客さんからそういうことを聞くと、やっぱり一瞬戸惑う訳ですよ。この人どういう風に説明したらいいだろうとか。その人の意に沿わないようなことを言う可能性もあるので、とってもそういうことを考えますよね。みんなに同じ対応するのは出来ないからね。



Q: 自粛期間中に36周年を迎えられましたが、37周年目の目標は?

アキさん: 今は何にしろ、自粛をしながらお店を続けていくということ。それがまず第一ですよ。うちのお客さんもそうだけど、週末なるべく出ないようにしようって言ったから、本当に来なくなっちゃったから週末。特に若くないから余計そうだと思うんですよ。それで僕も(お店)終わってから気分転換に飲みに行くんですけど、若い子の店はすごい混んでるんだよね。本当にこれ大丈夫かなって思うくらいに、マスクとかもしてないし、ねえ?(笑)

デリヘルくん: そうですね(笑)。

アキさん: でも難しいと思いますよ、自分の生活もあるからね。一概にダメとも言えないじゃないですか。ただリスクはやっぱあるから。例えばさっきのHIVの話もそうだけど、予防しなければ当然のようにリスクは増える訳だから、病気は違うけど今の状況はそれと一緒にですよ。だからこの一年は隣に新型コロナがいるって感じですかね。他の店も全部共通して、withコロナじゃないですかね。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

アキさん: 今ちょっと年代で固まってると思うんだよね。うちは本当に幅が広い方たちがいらっしやるんだけど。年代が違う人たちの話も聞いてみるのも面白いかなって気はするの。若い子たちだけだと「分かる分かる、その気持分かるー」ってそれで終わってしまうような気がするんですよ。だからもっと色々な年代の人が集まるようなところにも行ってほしいなと思います。これはうちだけではなくてね。だから色々な人に来ていただきたいし、色々なお店に行っていたきたいです。



性の百貨店と慕われるママが 「気持ちいいセックスしよう」に込めた想い

(掲載号:2020年9月号)



14

奏吉さん

and

東京都新宿区新宿2-11-10
小林ビル2F
TEL なし
営業時間 20:00~翌5:00
定休日 木曜日

Q: お客さんのコンドームへの反応がありますか?

奏吉さん: あって当然くらいになってるのかなって気はする。お店にいるお客さんが、今から突然リアルになったことがよくあるのよ。その後もあるのかわからないってときに「ゴム持ってるの?」って聞いて、「無い」ってパターンが、突然だからもちろんあるじゃない? そういうときに「はい」って渡せるから、めっちゃくちゃ助かってる。

デリヘルくん: お店によっては、トイレに置くと人目につかないから持っていきやすいという声もありますが、andさんはカウンターに置いて会話のツールに使って頂いている印象を受けました。
奏吉さん: うちのお客さんってセックスに対して割とオープンな子たちが多いから、隠れてこっそりコンドーム持っていくってよりは、普通に会話の中で「ほらゴムも」みたいな流れがうちはしやすいので、目の前にあった方がぼくはいいかなと思ってカウンターに置いてます。

Q: お店の名前 (and/アンド) の由来はなんですか?

奏吉さん: めっちゃ恥ずかしいんだけど(笑)。元々はうち「Aグループ」っ

て言われてて、「AiSOTOPE」や「ALAMAS CAFE」とかのグループにいたから、じゃあスタートにしようと思って。社長は良いよ気にしないでって言ってくれたんだけど。まあでもAとか1ってというのは検索に引っかかりやすくて。検索してもらいやすいってことを狙ったのもあるけども。後付で「and」って接続詞じゃない? 人と人、街と人を繋ぐ場所でありたい想いを込めて。だから大文字にもせず小文字でandって、あくまでも接続詞。誰かがここで繋がるのが出来たりとか、ここがきっかけで新しいことがはじまるとか。and〇〇ってことでみんながここを使ってくると良いかなと思ってつけました(笑)。あんまり恥ずかしくて言いたくないんだけど、たまにお客さんにも聞かれるの。みんな笑うんだよね、嘘くさーみたいな感じで(笑)。



Q: セックスに関する会話や相談はあつたりしますか?

奏吉さん: 「そうちゃん次はどんなセックスの話してくれんだろう」みたいな感じで楽しみにしてる人たちも結構多いくらい、セックスの話をするんだけど。そういうことしてるからか、相談はみんなしにくるね。尿カテー(尿道カテーテル)なんだけどもみたいな(笑)。尿カテーを結構使いまわしにする人多いみたいなの。それは良くないから、ちゃんと新しいの使ってもらうんだよって。それで向こうが新しいの持てなかつたら断りなさいって話をしたりとか(笑)。なのでセックスの相談は多いね。



Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?

奏吉さん: ノンケさんや女の子が二丁目にも増えてるじゃない? もう二丁目もゲイのための特別な場所ってのが、昔と比べてだいぶ薄れてきてると思うの。もう何十年後には二丁目って概念がもっともって薄れてるかなって。二丁目はゲイの街だって、わたしも思ってたところもあるけど。世の中の流れってどんなに抗ったって流れちゃうから、だったら二丁目ってこういう場所だったんだっていうことを語り継ぐ人だけが残ってれば良くて。変にノンケや女の子を排除しないで、どんどん来るなら来いやって。良い意味で二丁目って概念がなくなったらいいのかなとは思。ゲイがゲイであることが当たり前で、二丁目を抛り所にしなくても、みんなが楽しく生きていけるってのが、たぶん一番良い世界。寂しいって思いながらもね。ごめんね、難しい話して(笑)。
デリヘルくん: aktaの活動も似たような感じだなと思いました。HIVの問題がみんなの中で当たり前になったら、可視化し続けることは必要なくなるのかなって。



奏吉さん: そうだね。今この時代を生きてると、この場所や活動がなくなっちゃうことに対して、人が集まる場所がなくなるって思うと寂しさはあるけど。なくなることによって、みんながゲイとして生きることや、予防や検査が当たり前になってたり。ちゃんと考えたら良いことなんだよねって。そういう思いでいたいね。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

奏吉さん: すぐにパツと思いついたのが「気持ちいいセックスしよう」しかない(笑)。ちゃんとカッコ付で「安心して楽しめる」って、ちゃんとセフアーにやって、安心してセックスしようねって。何か不安を抱えながらやるセックスって嫌じゃん? そういった意味で気持ちいいセックスしようねって、いつも僕が言ってるんだけど(笑)。こんなんで良いの? 締め言葉、まあいっか(笑)。
デリヘルくん: だいい締まると思います(笑)。
奏吉さん: みんなその言葉の裏をちゃんと読んでくれると嬉しいな。きっと今コロナで楽しいセックスもしてないだろうし。どこかで自分大丈夫って思いながらも、絶対どこかで不安じゃん。そうじゃなくて、楽しい気持ちいいセックスが出来るのが一番だよってね。そんな想いで(笑)。
デリヘルくん: ありがとうございます。

“店内だけには留まらない 絶対の自信を持つMARK LANDの味”

(掲載号:2020年10月号)



15

仁さん

MARK LAND

東京都新宿区新宿2-14-9
島崎ビル1F
TEL 03-5925-8205
営業時間 17:00~翌7:00
定休日 月曜日
Twitter@MarkLandStaff



Q: コンドームを設置してみてどうですか?

仁さん: 毎回パッケージとか変わるので、コレクションしてる人とかもいますね。だから柄が変わってなかったら「今週変わってない」とかツッコまれます(笑)。

デリヘルくん:(笑)。コンドームをキッカケに店内でセックスについて会話になることはありますか?

仁さん: ありますね。ただ、お食事されてる方が多かったり、ノンケのお客様が来ているようなときは、ちょっとボリューム下げてねみたいなきらで、気を遣ったりもします(笑)。でも街柄どうしてもネタになってしまうのはしょうがないじゃないですか、みんな興味あるし。だから例えばたまたま店内がゲイだけで、食事もしてないってときに、そういった話しになることは多いですね。

Q: 美味しそうなフードメニューが充実していますね?

仁さん: 力入れてますね。ジャンルで言えばイタリアンなんですけど、限定メニューとして和に寄ったものだったりとか、色んなジャンルはやってます。それが好評であれば継続したり。なのでランドメニューもちょこちょこ手入れしてたりします。

デリヘルくん: メニュー考案は誰がやってるんですか?

仁さん: 基本的には自分とキッチン長でやっています。あと毎月ミーティングしてるので、こういうのが流行ってるとか情報収集からやったりしますね。

デリヘルくん: 10月の限定メニューはありますか?

仁さん: 10月はランドメニューが変わるので、限定メニューはお休みになります。本当は7月の最終週でお店が9周年で、それを期にランドメニューを全部変更する予定だったんですけど…。コロナの影響もあって出来なかったんですよ。それで、今レギュラーメニューになるものを、ちょこちょこい出ししてるんです。



Q: 路面店・ガラス張りで結構目立ちますよね。

仁さん: そうですね、結構ノンケさんの一見さんが入ってきて、(二丁目)どこいったら良いか分からないとかで、ある意味二丁目の案内所になっちゃうときもありますけどね。デリバリーもやって、お付き合いのあるお店も多いので、紹介できる範囲であればしたりとかもしますね。

Q: テイクアウトとデリバリーサービスもあるんですか?

仁さん: フードに関しては絶対の自信があって提供しているので、もっとみんなに食べてもらいたいと思って。ただお店で食べてくれた方が出来たてで一番美味しいので。デリバリーで食べてくれたら、じゃあお店で食べたらもっと美味しいものが食べれるんだとか、お店限定のメニューもあるので、そういうのを広めたいなと思ってはじめました。ただ、今は時期的にテイクアウトとデリバリーが多くなっちゃってますけどね。

デリヘルくん: デリバリーの範囲はどこまでなんですか?

仁さん: 新宿二丁目の店舗やお家と、三丁目とかちょっと離れたゲイバーとかも一部はやってます。

デリヘルくん: どんな層の人からの注文が多いですか?

仁さん: 基本的にはお店(バー)が多いですね。夜中0時過ぎてからはすごく多いです。

Q: コロナの自粛期間中に対応していたことはありますか?

仁さん: 緊急事態宣言でお休みしていたときは、週に一回空気の入れ替えと掃除をしにお店に来ていて。宣言後にお店

が再開したときは、飛沫防止の衝立を手作りして設置したり。座席の間引きしたり、レイアウトを話し合ったりして変更したりしましたね。

デリヘルくん: コロナの影響が二丁目にも大きく出たと思いますが、今後の営業を含めて対策で考えていることなどはありますか?

仁さん: もう共存していくしかないって考えに辿り着いたので、無症状の人も多い中で予防対策は徹底して、マスクや手袋をしたり。食事を出している以上は細部まですごい気をつけてまね。

Q: 今後、二丁目がどうあって欲しいと思いますか?

仁さん: とりあえずコロナ前に戻って欲しいですね、本当に。週末の賑やかな感じとか、今もう寂しくなっちゃってるじゃないですか。仕事のスタイルがすごい変わってきてるので、週末だから混むとかってのが無くなって来てるんですよ。逆に週末の方が暇だったりとか。仕事がりモートで平日に一日だけ出社しなきゃいけないって人が、出社したついでに飲み来てくれることがすごい増えた。みんなのライフスタイルが変わってしまってるので。だから今は昔に戻って欲しいけど、昔みたいにはならないのかなとか。だけどお店としては路面店で目立つ所でやっているの、色んなものを取り入れて、新しいカタチで発信していけるようなことは常に求めて行こうかなとは思ってます。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

仁さん: お食事が美味しいので、お食事をしに来てくれたら嬉しいです。言葉にして言うの照れますね、Twitterとかだとバババって打てるのに(笑)。お食事に合った会話で楽しませますので、どなたでも、お一人でも大丈夫ですので、ぜひ来てください(笑)。



引き継がれる意思と、新たなスタイル”



16

ときさん



flik flak

東京都新宿区新宿2-10-3
セブンファミビルB1
TEL 03-3341-1112
営業時間 19:00~翌5:00
定休日 なし
2choco.net/flik-flak/



Q: デリバリーボーイズの活動にはどのような印象をお持ちですか？

ときさん: 最近はそれこそ二丁目の仲通りを掃除されてるボランティアの活動もありますけど、それよりも前からやられていることだと思うので、自分の中ではすごく馴染みのある活動だなと思ってます。

デリヘルくん: ボランティアスタッフとのやり取りで印象に残っていることはありますか？

ときさん: そうですね、活動とはちょっとズレちゃいますけど、以前aktaさんがやられていた「Living Together のど自慢」に出させて頂いたことがあって、そのことで顔を覚えてもらったことが増えたので。そこは印象に残ってます(笑)。

Q: お店の中でのお客さんから相談などはありますか？ (HIV/性感染症等)

ときさん: そういうこともありますね。まあ話してる本人が笑い話として話せるものがほとんどですけどね。中には一対一だったりとかって状況のときにカミングアウトしてもらったりすることはありましたね。

デリヘルくん: そういったカミングアウトを受けたときに、対応として心掛けていることなどありますか？

ときさん: そういった話は本人にとってもデリケートな話だと思うので、そこはきちんと受け止めようって気持ちで話は聞きますね。その上で、その人の現状だったり、どういう活動をしているのかってことも人によっては話してもらったりすることもあるので、そこで自分が情報を得たりすることもありますね。そういった病気に、意識しないと中々調べることってないので。直接そういった当事者の方から話を聞くことが一番リアリティがあって、すごく勉強になります。

Q: お店の名前 (flik flak/フリップフラック) の由来はなんですか？

ときさん: 時計のメーカーの名前から取ったんだよねって話は聞いてて、「flik flak」の前に「die pflanze kaffe」って名前が付いてるんですけど、それはドイツ語で「植物のあるお店」という意味なんですって。実際にお店にもお花を置いたりもしてて、昔はもっとたくさん置いてたりっていうお店だったので。その名前の由来と共にお店の名前がついてますね。「flik flak」はドイツ語で時計のチクタク音をflik flakって言うんですけど。

Q: 店内で作品の展示を募集してるんですか？

ときさん: はい、お店の壁にたくさん額縁を飾りたいねって当時のスタッフからの発案があって、それでやってみたんですけど。そのときにせっかくこれだけ額縁置いてるんだったら、展示をしたい人がいればそれをここで展示するのも良いんじゃないかって話が持ち上がって、それで一回Twitter上で募集をかけました。

デリヘルくん: なるほど、まだ募集中なんですか？

ときさん: 募集は一応生きてます(笑)。ご希望の方は連絡頂ければ(笑)。

デリヘルくん: 展示は無料で出来るんですか？

ときさん: そうですね。実際にどういったものを飾りたいのかってところで、一応作品を見せてもらって。これだったらって自分の中の審査みたいなものは発生すると思うんですけど(笑)。



Q: 二代目ママへ就任した経緯を教えてください。

ときさん: 前任のママがこれまでと違ったスタイルのお店をやりたいっていうのが、気持ちとして前から思ってたらくて。それがいいよ本格的な話になったときに、じゃあお店どうする？って話になったんですけど。僕も僕で、将来的に自分のお店をやれたら良いなって思っていたので、このタイミングを逃しちゃいけないと思って「自分やりたいんですけど」って手を挙げてっていうのがキッカケですかね。

デリヘルくん: そうだったんですね。店子として働いたときと、ママになってからで気持ちの変化はありましたか？

ときさん: ママになったばかりの頃は、正直(店子の)延長線上みたいところはあったんじゃないかと思うんですけど、この一年半くらいで

スタッフが結構入れ替わったんですよ。それで自分でスタッフ探してたりとか、コロナ期間とかもありますけど、色々経験して行って多少なりとも自覚が出てきたと言うか、自分がママなんだなっていう、自分でお店やんなきゃいけないだって責任感みたいなものはだんだん出てくるようになりましたね。

デリヘルくん: こうゆうお店にしたいとかありますか？

ときさん: やっぱり前任のママと同じことは出来ないし、自分は自分なので。自分の良い面がうまく出せればとも思うし、まだまだ一年半なので。ここからまたやりたいこととかが出てきたときに、きちんとそういったものを出して行ければとは思いますが。

Q: お店の告知や、宣伝などあればお願いします。

ときさん: 結構ネット上なんかだと初心者に優しい店みたいな感じで書いていただいたりすることがあって、自分の中でも割と、初めての方にも気軽に来ていただけるお店でありたいなとも思っているんで。二丁目には行きたいんだけど、なかなか来るキッカケがない人たちのキッカケの一つになればいいなと思いますね。

デリヘルくん: ありがとうございます。



“本誌初公開!? 知られざる 名前の由来と、二丁目のエンターテインメント”

(掲載号:2020年12月号)

AiSOTOPE LOUNGE

東京都新宿区新宿2-12-16

セントフォービル1F

TEL 03-6380-1504

営業時間・定休日 イベントにより異
なります(WEBで確認)

aliving.net/

17

大石 さん

Q: デリバリーボーイズの活動にはど
のような印象をお持ちですか?

大石さん: 本当に色々な人が関わって
るんだなって印象があって、僕が飲み
に出始めた頃から変わらず続いている人もいれば、
メンバー変わりがながらも新しい人が定期的に入っ
て、興味を持って人たちが多くなって。
そういう風に知ろうとすることが大切なと思う
ので、それが素晴らしいなって思います。

デリヘルくん: 大石さんも過去にデリバリーボー
イズへ参加してくれたことがあります、そのと
きの印象の変化はありますか?

大石さん: いや、あんまり印象が変わってなく
て。ブレないでちゃんと目標を持ってんだな
って思って、そこがすごいなと思います。

デリヘルくん: 届ける側から、受け取る側へ変
わったことでの変化はありますか?

大石さん: 配ってる時は、自分も21~22歳だ
ったので、あんまりよく分かってなくて。受け取る
側になってから、これってこういうことの為
にやってるのかとか、改めて意識しました。

Q: お店の名前 (AiSO-
TOPE LOUNGE/アイソ
トープラウンジ) の由来はなんですか?



大石さん: 調べてきたんですけど、前に働いてい
た元上司の方たちから教わっていた内容と全然違
くて(笑)。元上司から聞いてたのは、「Isotope」
ってすいーへーりーべーぼくのふね…みたいな元素
的な核的な意味なんですけど。だから色々な人が
居て良いんだよって意味で付けたって言われて
て、「内容薄っ!でも納得はいくかも…」って
思ってたら。今回名前の由来を聞いてみたら、尾
崎豊さんの会社名がアイソトープだったんです
って、当時社長がその憧れから名前を拝借したみた
いで(笑)。でも根本的には「核」って意味もある
から、物事の中心になれるお店になりたいって意
味も含めて作ったみたいですね。LOUNGEって付
いているのは、当時流行ってたからで(笑)。当初
はクラブってイメージよりも、ラウンジとしてお
喋りして集まれる場ってイメージもあったみたい
です。

デリヘルくん: AiSOTOPEの「i」が小文字なのは
意味があるんですか?

大石さん: たぶんあれは雰囲気だと思う。ただア
イソトープって言葉が「i」から本当は始まるの
で、そこに「A」を無理やり付けてるのは、会社
の系列店舗は全て頭に「A」を付けていたから、
言葉的には間違っている感じに見えるけど、
「A」って入れようかって。

デリヘルくん: なるほど!これは大発見です
ね!!

大石さん: そうですね、僕も改めて聞かなか
たら、まったく分からなかったで(笑)、良い話
だなと思いつつ。たぶん他で出てこない話か
なって(笑)。



Q: イベント中のエピソードや裏話が
あれば教えてください!

大石さん: イベント中のショーによ
って、ステージの幕を開けたり閉めたり
するものもあって。あるドラッグクィーンさん
の定番のショーがあるんですけど、その時は必ず準
備して横に待機してるので、どう頑張っても斜め
からしか見えなくて、一回も正面から見たことが
ないんですよ(笑)。でもお客さんが喜んでる姿と
かを見ると素晴らしいショーなんだろうなって
(笑)。準備も頑張ってたって良かったって毎
回思いますね(笑)。

Q: クラブで働いてきた中で、変わ
ったこと変わらないことはありますか?

大石さん: 変わったなって思うこと
は、来てるお客さんたちの繋がりが強
くなって思うことがあって。前は一人で来てる
人が多いなってイメージだったんですけど、今
は単独で来てる人って少ないのかなって。いる
とは思んですけど、一人で来てもだいたい
知ってる人いるとか。やっぱりSNSとかがすごい
普及してるから、先にSNSで友達になって、み
んなで遊びに行こうみたいな流れを作ったり
とか。傍から見ると、自分が遊びに出始めた
頃は、SNSもまだそんなに普及してなくて、実
際に話しかけてみて仲良くなった人とかもいま
したけど。今の人は先にある程度の情報や顔
を知った状態で会う人が多い気がするの、そこ
は変わったのかなって。

デリヘルくん: 確かに!誰々さんですよね?み
たいな(笑)。

大石さん: そうそう、お店とかでも昔情報が無



い頃って「あの店って可愛い子が集まるらしい
よ」っていうのがあって、そこに人が集まって
たじゃないですか。でも今ってもう可愛い子が
いる!そこを目掛けて行ってみようみたいな。
情報が見えてるか見えてないかっていうのが大
きな違いかなと(笑)。

デリヘルくん: なるほどね~(笑)。

大石さん: だからイベントとかでも、より「こ
の人たち面白いよな」とかそういうのがハッキ
リ見えている方が、みんな集まるのかなって感
じがする。



Q: お店の告知や、宣伝などあればお
願いします。

大石さん: クラブって場所は価値観を
共有して楽しめる場所なので、音楽も
そうだし、出演してるGOGOさんとか、ドラッグ
クィーンさんとか、パフォーマーさんの息遣い
とかを感じれるというか。実際にアーティスト
のライブとかに行くのとかも一緒に思うん
ですけど、やっぱりCDとか家で音楽を聴くだけ
では感じ取れない部分っていうものがそこには
あって。そういうものがエンターテインメントだ
と思うので。このコロナ禍で距離感ってものは
すごく難しいんですけど、お家で本を読ん
でるのが好きって人もいると思うので、色々
楽しみ方があると思うから。感染対策など出来
ることをした前提で、もし気になるものがあ
ったら足運んでほしいなって感じですね。

デリヘルくん: ありがとうございます。

デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー特別号

(掲載号:2020年5月号)



18

Toshi (トシ)さん

Base

東京都新宿区新宿2-10-3
井上ビル2FA
TEL 03-6457-8104
営業時間 19:00~翌2:00
(週末~翌4:00) 定休日:火曜日
base.sub.jp

政府からの緊急事態宣言により、自粛営業が続いていることから、新型コロナウイルスに関連したインタビュー内容を、過去インタビューに協力してくれた2店舗へ、オンラインにてインタビューさせていただきました。

コロナ



Q: コロナ騒動で二丁目も大打撃を受けたと思うんですが、具体的にどんなことに困りましたか?



トシさん: 一番はお店を休まざるを得ない状況になっているので、もう収入がない。大多数のお店が4月の頭から自粛休業という形をとっています。うちもそうですけど、まるまる一ヶ月営業していないので、収入がゼロなんです。ほぼほぼみなさん収入がない状況っていうのが大打撃ですね。すなわち食っていくことももちろんですけど、お店の家賃、光熱費、その他もろもろかかる費用。ましてや自分の住んでる所の家賃も払えないという声が、まあ僕もそうですけど。そこですね、今大変ですよ。



Q: 何か対策や実践されていることなどあれば教えてください。



トシさん: まあそれで(緊急事態宣言が)延長されそうじゃないですか? もう無理、持ちこたえられないという反応もある中で、東京都が休業要請に応じてくれて、協力金というのを申請受け付けてますけど。それもね提出する書類とか諸々、若干面倒臭いものもあったり。行政書士さんのアレをもらわなきゃいけないとか、過去の営業実績の帳簿を出さなきゃいけな

いとか、いかんせん何をやるにしても手続きが大変なわけですよ。それでやり方が分からないとかあるので、みんなで相談しあいながら。二丁目振興会関係なく、今二丁目全体のどのお店の方も参加出来ますっていうLINEグループを作っていてですね、マスター、スタッフ限定でやってるんですけど、240人くらい入ってるんですよ。

デリヘルくん: えー、すごい!

トシさん: もうやれることはやらなきゃって(笑)。でもこの自粛とかコロナの騒動が明けて通常で営業出来たとしても、普通に今までの状況に戻ってくるとはやっぱり思えないので。お店開けても今までの売上は出ないでしょうし。ましてやうちらだけのことではないので。



お客さんたちの声も聞いてみると、収入が激減しているお客さんもいっぱいいるし、お客さんサイドの飲みに行く余裕とか、お金もないっていう人は沢山いると思うんですよ。だからそこまで考えたら、お金がいくらあっても足りないなという空気です。まあ幸いなことに二丁目振興会は、新宿区にも認可されている商店街組合なんです。そういう母体があるんで、今はそれを振興会を中心として二丁目全体、もちろん一丁目とか五丁目とか三丁目のお店も含めて、ゲイ、レズビアンもそういった類のお店関係で知恵を出し合ったり、こんなことやれるんじゃないの?とか、そういったことを一生懸命動いてるところですよ。

デリヘルくん: そうなんですね。



トシさん: 面白いって言ったらおかしいけど、もともと振興会で動かなきゃって話で始まって。いやいや振興会だけじゃないでしょってことで、誰でも入れるグループLINEを立ち上げたんです。振興会加盟店は今130軒くらいしかないんですけど、もう倍くらいの人数がそのLINEグループに入ってくれて、振興会に入ってない方でも。誰がその助けの知恵があるのかとか、こういう融資ありますよとか、こういう手続きが取れますよとかってパンパン情報を流してくれるので、参考になるものがあれば活用して下さいとかって。とりあえず必死です今。

デリヘルくん: 横の繋がりを感じますね。

トシさん: もう本当二丁目はね、横の繋がりが大きいので。ほらカテゴリーによって繋がりが濃いじゃないですか。レズビアンのお店ももう殆ど入ってるし、観光パー系のお店とか、若いジャン系っていうんですか?昔の言い方すると(笑)。サラサラパー系。ちょっと僕は嬉しいの。色んなカテゴリーの色んな垣根が取っ払



れていて今。みんな気持ち一緒なので、乗り越えられる乗り越えられない別として。まあみんな何かに助けを求めたいんですよ。



Q: 最後になりますが、今回二丁目にとっても大きなターニングポイントになったと思いますが、復興に向けてこう変わってきたいなどの想いはありますか?



トシさん: いや、小さな店の集合体なのでこの街は。だから基本は変わらないと思うんですけど、連帯感強いものが集まるのかなと思いますよ。この有事の時期なので、今ある意味助け合いをしている状況なので。二丁目全体の連帯意識はすごいことになると思いますよ。それくらいかな。でも変わらないと思います。変わってほしいし、二丁目って街の空気とか。それを守るために一生懸命動いているので。でも外目には変わらないかもしれないですけど、働いてるマスター、スタッフたちの心持ちは変わると思います。みんなで乗り越えられたとか、あの時に助けてもらった、あそこ知り合うことが出来たとか。横の繋がりがとかね、その辺がすごく濃密になっていくと思うので。だから変わっちゃいけないんですよ、二丁目は。それを変わらないように守る作業を今マスターたちは一生懸命やってるところですね。

デリヘルくん: ありがとうございます。



デリヘルくんが聞く! 突撃インタビュー特別号

(掲載号:2020年5月号)



酔妃がいずば

東京都新宿区新宿2-14-10
第二篠原ビル1-1
TEL 03-5379-0757
営業時間 日~木19:00~翌2:00
(金土~翌5:00)
※土曜日はMensOnlyDay
定休日 なし

外 (がい)さん

19



政府からの緊急事態宣言により、自粛営業が続いていることから、新型コロナウイルスに関連したインタビュー内容を、過去インタビューに協力してくれた2店舗へ、オンラインにてインタビューさせていただきました。

新型コロナ



Q: 新型コロナウイルスについて率直に感じていることを教えてください。



外さん: 大変だなと思うけど、生きる間にこんなに大きな、世界規模のこういうのを経験したことがないじゃないですか? 僕は阪神大震災のときも東京にいたので、あまり実感として経験してる感じではないので。なので初めての経験だから何して良いか分からないし、国も多分困ってるし、対応も困りながら、みんなが模索しながらやってるので、単純に自分で出来ることをやってる感じですね。一番分かりやすく言うと、もちろん政府に頼るところは頼って、申請したりもしてるけども、これと一ヶ月向き合ってる一番思ったのが、ウイルスって病原菌と戦ってるのもそうなんだけど、自分のメンタルと戦ってるというか、それが一番大きいなと思っての今回。



Q: コロナ騒動で二丁目も大打撃を受けたと思うんですが、具体的にどんなことに困りましたか?



外さん: 自分のモチベーションはあんまり気にしなかったんです。それよりも、うちの店で働いてくれている従業員の生活をどうしようかなって考えてる。それが一番かな。うちをメイ

ンでやってくれている人たちが数人いるわけです。その子たちの生活をどうやって支えてあげようかなってのが一番悩む。

デリヘルくん: それに対しての対策や実践してることはありますか?

外さん: うちがやったことは2つなんです。まずはお店で使えるギフトカードの販売をやりました。うちの店舗だけで使えるギフトカードなんですけど、その売上金を働いてない子たちのお給料にあてました。もちろん上限を決めて、それ以降は店の売上になるっていう風にしたんですけど、それをお客さんたちがいっぱい買ってくれて、そのお金と、政府の助成金を合わせて4月分としては、なんとかやっていけるかなって感じですね。それとお弁当販売ですね。

デリヘルくん: もともと料理をされてるスタッフさんがいたんですか?

外さん: そうなんです。うちお通しをずっと食べ放題で出していたので、たくさんお通し自慢のママさんたちがお弁当売り始めたじゃないですか? それで、うちの子たちも出来るなと思ってやったんですよ。

デリヘルくん: 無観客営業もされてますよね?

外さん: それも感化されてやり始めて。僕は

PayPayとかって導入してないので、うちはお客さんがツケ伝票で「飲んで〜」っていう(笑)。本当にこれは信用って感じでお客さんが飲ませてくれるので。それ用の伝票があって「ツケになるけど良い? またコロナが収まった頃に来てね!」っていう形でお酒を飲ませてもらってます(笑)。それは本当に面白い。

デリヘルくん: すごい(笑)。初心者にもありがたいシステムですね。結構見られてますか?

外さん: 最初の頃は1300人くらい見てたんですけど。今はなんとなく人数落ちてきて、今は constants に600人くらい見てくれてます。

デリヘルくん: えー! すごい!!



外さん: それをやり始めたら、やっぱり配信って最初はお店のためにとか、例えば緊急事態宣言が出る前はお店も従業員含めて時給発生させてやってたんです。だけど緊急事態宣言出てからは従業員もダメだなと思って自分一人で(配信を)やり始めたんですけど。やってみたら自分がモチベーション上がるっていうか、そのおかげで正気を保っていられるって言うたら変なんですけど。やり始めて働いて“これやらなきゃ”って思ってることの方が僕が助けられてる感じ。配信に関して言うと。それで毎朝自分も自宅から配信したりとかしてるんです。簡単な朝食とか手抜き朝食とかっていうのを配信して。それも平均して400人くらい見てくれてる。それとついでにツイキャスも始めたの(笑)。今まで見てただけだったツイキャスも出来るんじゃないかなと思って。ツイキャスもやったら、それを見てくれている日本全国の人が、「コロナ収まったらお店にぜひ伺います」みたいに言ってくれる方もいっぱいいるので、もう有り難いですね。ネット配信に関してはすごく助かってる。直接すごい売り上げになっているかって言われたら、なってないんですけど。自分の気持ちが助けられてる感じ。



Q: 最後になりますが、今回二丁目にとっても大きなターニングポイントになったと思いますが、復興に向けての想いなどはありますか?



外さん: 最終的にはなんとなく夢ではあるけど。昔「レインボー祭り」やったときって、もっと規模が大きくて、たくさんの方が来て、露店も出してみたいな時代が僕らあって。なんか本当にそのときはこのままLGBTが世間に対して少数派じゃなくて認知されていく流れの一旦であるのかなって気がしたときがあったんだけど。色々あって、縮小されて縮小されて、いまややっても一般の人も来ないし露店も無いし、みんな手売りのお惣菜とか売ってるぐらいでしょ? だからあれが本当に“二丁目祭り”みたいなことになれば良いかなとは思ってた。またみんなが楽しめて、一般の人たちとも隔たりがなくなるキッカケになって。それが例えばLGBTの理解への繋がりになったりとかって。そういう催し物が開けるぐらいの繋がりにあれば良いかなとは思う。

デリヘルくん: 本日はありがとうございます。



“新たな発見と、生み出される自信” (掲載号:2020年3月号) デリバリーボーイズの活動の魅力”



左: 咲羅夢くん

中: プラくん

右: 智也くん

20

プロジェクト名 デリバリーボーイズ

東京都新宿区新宿2-15-13
第2中江ビル301

TEL 03-3226-8998

活動時間 20:00~23:00

※初参加の場合は19:30より
オリエンテーションを行います

活動日 毎週金曜日

基本第3週目の金曜日は
配布をお休みにして
勉強会を行っています。

akta.jp/
delivery-boys

続いていくことが大事だ
よねって言われることが
多いので大切だなと思い
ます。

Q: デリバリーボーイズをはじめたキッカケを教えてください。

●咲羅夢くん: aktaに関わってるゴーボーイさんたちはお知り合いなので、そのポスターを見てaktaを知り、ボランティア活動として『デリバリーボーイズ』ってどんな活動をするのか気になったので自分からネットで検索してaktaへ行き、ボランティア活動したい! と思ってお願いをしたんです。

デリヘルくん: 実際に活動に参加してみてどんな印象でしたか?

●咲羅夢くん: 色々なセクシュアリティや国籍の方が参加していたり、男性だけだと思ったら女性も参加している人がいたので驚きました。

Q: BARの人たちやお客さんとのコミュニケーションで印象に残っていることは?

●プラくん: 一度あるお店を回っていた時に、みんな裸で良い景色だった。

デリヘルくん: (笑)。

●プラくん: (笑)。なんて日本語で言うか分からないけど。

●智也くん: ママさんと色々な方々とお話することがあって、共通するのはこういう活動は継

Q: デリバリーボーイズをやっている周りの反応は?

●智也くん: トランスの子が周りに多いんですけど、自分の健康意識がすごく低かったりとか。そういうときにデリバリーボーイズをやっていることを話したことによって、どんどん話が広がって健康問題についてやっぱり自分自身の体について考えていかなーといけないうねって話とかは出たりします。



Q: みなさんの活動を継続して行うモチベーションはなんですか?

●咲羅夢くん: デリバリーの活動を通して、いろんなBARのママさんや店子さんたちと接して、様々な情報を得たり、デリバリーメンバーで情報共有することで街のニーズを知ることが出来たりして。そういった発見が楽しさに繋がり、それがモチベーションになっています。

●プラくん: インドで(LGBTの活動を)ずっとやりたかったけどやれなかった。ここでは自信を持って、友達もみんな優しく、咲羅夢くんとはいつもメッセージします。「Dragon menに今日来ますか?」「はい、行きましょう」って。デリヘルくん: メンバー同士のやりとりもあるんだね。

Q: 活動中で大変だったことはありますか?

●咲羅夢くん: お店によってオープン時間が様々なので、お店が開いていなかったり、お店の人が外出中のときもあったりするので、時間を調整したりするのが大変に思います。でもBARの場所など2丁目の地理感には自然に覚えていくので、とても勉強になると思いますよ!!

Q: デリバリーボーイズに参加して気持ちが変わったことってありますか?

●プラくん: 前よりも自分を愛せていると思います。仕事でも金曜日は毎週飲み会があるんですが私は行きません。今度には行かない理由も伝えたいなって思っています。デリヘルくん: その自信っていうのは自分のことをさらけ出せるってことかな? ●プラくん: はい。今までそういうのはなかった。インドではゲイの友達がいなかったから。今はいっぱいいます。

Q: デリバリーボーイズでやりたいことはありますか?

●咲羅夢くん: 活動以外でも皆と仲良くBARで飲んだり、飲み会などしたいですね。また手話に興味がある人がいれば教えてあげたいです。●智也くん: 個人的にはデリバリーで色々なお店を回るので、どんな雰囲気なのかはなっ



毎回の参加で分かるので、そこで自分が気に入ったというか、飲みやすそうなお店にはお伺いしたりとかしています。

Q: デリバリーボーイズ(または個人的に)流行っていることはありますか?

●智也くん: 趣味でも良いですか? 趣味は仕事と恋愛ですね(笑)。

デリヘルくん: (笑)。結構仕事と恋愛の両立が難しいって人多いと思うけど、智也くんはどう?

●智也くん: 難しいですね(笑)。でもうまく空いた時間で出会い系アプリ使ってメッセージ送ったりして(笑)。うまく仕事終わりに会ったりとか、そういうことしながら充実はしてますね。いい人探してます(笑)。

●プラくん: グローバルな友達と色々話するのが楽しい。お酒をたくさん飲んだ後に、自分のPrivateな話をしたり、泣いている友達がbreak heartした場合は、「そういうことがあったんですか」って話したり。

デリヘルくん: 失恋したみたいなの?

●プラくん: そうそう。彼氏と別れた話とか。

Q: 活動に関して最後に一言メッセージをお願いします。

●咲羅夢くん: 初めて参加する人はとても緊張すると思います。私も一人て初参加した時は、緊張していました。でもaktaのスタッフやデリバリーのみんなが温かく迎えてくれて、コミュニケーションを取ることができました。「参加してみたい!」と思った時は、勇気を持ってaktaにいらしてみたいね♪

community center akta:センター長交代のご挨拶

(掲載号:2020年7月号)



右: 木南さん

左: ジャンジ (荒木)さん

community center
akta

東京都新宿区新宿2-15-13

第2中江ビル301

TEL 03-3226-8998

営業時間 木~日 16:00~22:00

定休日 月・火・水曜日

akta.jp

今回のインタビューは、7/19(日)にオンライン上で行われた、2019年度akta活動報告会より、今回の大きな見どころだった「センター長交代の挨拶」から、前任のジャンジ(荒木)さんと、後任の木南さん、それぞれのコメントを紹介しちゃうよ★

前センター長の荒木より交代の挨拶

●荒木さん：二丁目からコンニチハ！aktaのジャンジ(荒木)です。

この度センター長を退任いたしました。無事に任務を終えることができたのは、皆様方のご支援ご協力のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

この後はスタッフとして関わっていく予定でございます。退任と交代の主な理由ですけれども、三つほど挙げさせていただきます。

1つは公共性というところで、この事業は単年ですけれども厚生労働省の事業を運営しています。なので特定の人物が長期にわたって代表を務めるということは、不健全ではないか。センター長という役職も1つの権力なので、どうかという風に考えました。

2つ目は、世代交代です。エイズの問題が社会に出てきてからもう30年以上経ってきて、当初先

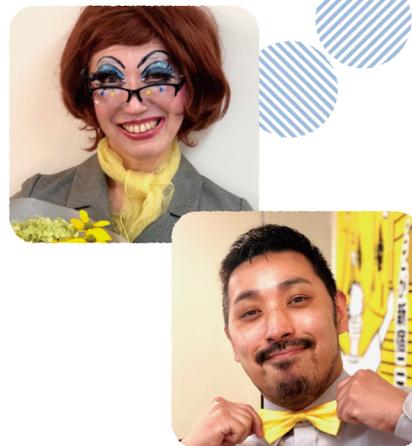
陣を切って奮闘して来られた方たちが、もう引退する世代になっています。だけれどもこの問題はまだまだ終わっていません。やはり性的に活発な若い人たちが中心になって、この問題を引き続きやっていってほしいという願いがありました。そして3つ目には、もっとより二丁目やコミュニティに根ざした活動を目指すことを挙げています。私はMSM(男性とセックスをする男性)ではないですし、いくら対策や活動をしていても、ハッテン場とか、ゲイバーには入れません。この二丁目を中心にアウトリーチ活動を長年やってきた木南にこの後交代して託したいと考えております。

では、aktaとして何が出来たのかを簡単に振り返らせていただけたらと思います。2003年にこのセンターが開設され、2005年の年明けに誘われてaktaに入りました。2011年に団体aktaを設立して、2012年に法人化をし、初代の理事長を務

めました。その後にこの事業がどんどん減額されて、aktaの存続が危ぶまれるということがありました。そのときにはコミュニティのみなさん、LGBTのみなさん、HIV関連のみなさん。様々な団体や二丁目の方たちに署名活動に協力して頂き、そこからaktaのことを広く知って頂く機会へと繋がりました。

2点目としては、aktaに入った翌日に陽性者の方から相談を受けるという経験があり、ここにいるということは、そういう立場にあるということなんだと、すごく肝に命じました。ここに来た人たちが何とか命をつないで次のステップに繋がれるような、緩やかではありますが、セーフティネット的な所をaktaで作って来ました。

3点目は連携になります。常に問われてきたところで、なぜあなたがMSM対策やゲイ・バイセクシュアルのことをやっているの？と。私がいつも伝えてきたことは、課題は当事者だけではなく人権的な側面もあり、色々な人に関わる社会的な課題ですよ。その中で様々な行政自治体との連携、またLGBTコミュニティに率先して参加していくことで、この問題を可視化してきたところです。多様性ということでは、ますますこれから求められるところではあるんですけども、aktaが何なのか、aktaの根幹に戻ってこのコミュニティに根ざした活動をしていくことが必要だと感じています。なので、アウトリーチ活動を長くやってきた木南にセンター長を交代したいと思います。これからも応援をよろしくお願いします。



新センター長の木南より交代の挨拶

●木南さん：みなさんこんにちは。この度センター長へ就任致しました、木南です。私がこの活動へ参加をし始めたのが、2005年の後半頃にaktaのデリバリーボーイズという、 Condomsをバーへ配達するボランティア活動が最初でした。参加し始めた頃は、HIVや性感染症の知識もほとんどなく、デリバリーボーイズのユニフォームが着たいという安易な気持ちで参加した活動でしたが、その後ボランティア活動を中心としながら、クラブキャンペーンやaktaの行事への参加も増え、気がつけばデリバリーボーイズのプロジェクトリーダーや、aktaの事務スタッフといった役割を担うようになりました。

正直なところ、デリバリーボーイズのリーダーに就いたときも、慣れないことに戸惑っていましたが、当時のボランティアスタッフや、aktaスタッフ、それから街のみなさんなど、たくさんの方に支えられながらなんとか乗り越えてきた部分があり、そうした経験の中でこの10何年間で少しずつ自信が身につけてきたの今があります。

この度センター長という大きな役職に不安な思いはたくさんありますが、一歩ずつ前進していけるように精進してまいりますので、温かい目で見守って頂けたら嬉しく思います。

今後は、私が15年の活動の中で培ってきたデリバリーボーイズでの経験を活かし、センター長の直轄プロジェクトとして、アウトリーチ活動を置きまして、自らも街へ繰り出していきながら、コミュニティに根ざした活動が出来たらと思っていますので、引き続きご支援ご鞭撻、そしてご協力のほど、よろしくお願い致します。

What's DELIVERY BOYS



community center aktaを拠点に、毎週金曜日にお揃いのユニフォームを着て新宿二丁目に飛び出し、健康に関する様々なアイデアを届けることを目的に、コンドームを配布するボランティア活動です。



デリヘルくんが教える4つのPOINT

1 いろいろなお店に入れる!!

2020年11月現在、約170店舗のBARやクラブにコンドームの配布をしています。お店のジャンルは様々。一日のうちに多くのお店の雰囲気を楽しめるのは、デリバリーボーイズの特権♪
気になっていたお店もチェックすることができちゃうかも!?



2 楽しいメンバーとワイワイ♪♪

毎年たくさんのメンバーがボランティアに登録！年齢やセクシュアリティにとらわれず、「誰でも」参加できるよ。親友になった友達もたくさん♪

※活動時間の都合上、参加できるのは18歳以上(高校生はNG)となります。

3 かわいいユニフォームが着られる!

お揃いのユニフォームはツナギとTシャツ。どっちもポップでおしゃれ！街の雰囲気にも溶け込んでいるよ。ちなみに僕はツナギが着たくてボランティアを始めたんだ!

4 月一回の勉強会でステップアップ↑↑↑

毎月第三金曜日には、知識やリアリティをアップデートするための勉強会を開いているよ。現在はオンライン上での交流や、テーマを設けたディスカッション等も行っているよ。

★ DELIVERY BOYSに参加するには?

akta DELIVERY BOYS 検索 で検索しよう!!

「ボランティアに応募する」より、ガイドラインを読んだ上で必要事項を記入して送信しよう。「デリバリーボーイズ参加希望」と明記するのを忘れずにね。電話やメールからの連絡、直接aktaに来場して参加意思を伝えてもOK! もちろん一回からの参加でも大歓迎!



コンドームの説明・コンドーム設置条件



現在までに3 akta が作成した
コンドームパッケージの種類はなんと約 300 種類!



これらは、ゲイコミュニティの中でも人気のあるイラストレーターさんや、モデルとのコラボを行って作成してきました。他にもロゴタイプやデザイン重視のものであったり、メッセージ性の強いコンセプトualのものであったりと、様々なニーズに合わせてパッケージを作成しています。

コンドームはセーフターセックスのアイテムとして、多くの方に使ってもらいたいものではありませんが、セックスや、様々な会話のキッカケのツールとして使ってもらえたら嬉しいです。

コンドームを置きたいと思っているお店の方へ

現在デリバリーボーイズでは、コンドーム設置に関して下記の事をお願いしております。ご希望の方は、TEL (03-3226-8998) or Mail (info@akta.jp) にてご連絡頂くか、直接aktaへ訪問の際にお気軽にお声がけ下さい。

設置時にお願いしていること!!

- 活動の趣旨を理解した上で、自ら設置希望をお伝え下さい。
- 活動の範囲として、新宿二丁目を中心とした周辺店舗のみとなります。
(一部新宿三丁目、五丁目含む)
- コンドームと一緒に募金箱の設置をお願いしています。
- 毎週金曜日(第三週目を除く)の20時~22時くらいの間は、ボランティアスタッフが訪問致しますので予めご了承下さい。

※新型コロナウイルスの感染症対策として、隔週の配布での対応となる可能性がございます。



What's community center akta



新宿二丁目にあるHIVをはじめとしたセクシャルヘルスに関する情報センター&フリースペース。
 10代～70代までたくさんの方のLGBTの人たちが訪れています。
 2003年の開設から10万人以上の方が来場しています。
 新宿二丁目のインフォメーションセンターとしても気軽にご利用ください。お待ちしております!!



- どなたでも無料。
- 待ち合わせ・ひと休みに使える。



- コンドームがもらえる。
- イベントフライヤーやパーマップを手に入れる。

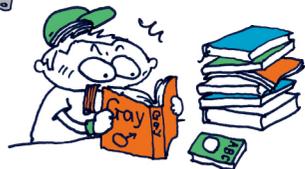
参加者募集中

※詳細は46ページ参照

- DELIVERY BOYSに参加する。



- LGBT等の事を知る。
- マンガや雑誌、HIV陽性者の手記集を読む。



他にも...

- 展示会やサークル活動、ミーティングなどで使う・参加する。
- サポート情報を知る、相談する。充電をする。無料WiFiを使う。



※社会的情勢等の影響により、対応が変更となる場合がございますので、ウェブサイト (info@akta.jp) やSNSなどでご確認下さい。

デリヘルくん



デリヘルくん



DELIVERY BOYS

過去akta monthly paperにて掲載していた4コママンガ「デリヘルくん」(2007年4月号～2010年9月号まで)デリバリーボーイズの活動を通しての様々な出来事をおもしろおかしく描いています。前回同様、今回もBARインタビューのあるあるネタとして、紙面では見えない1面を描き下ろし4コマにてお届けします♪
 ※過去の4コママンガは、デリバリーボーイズwebページにて読むことが出来ます。http://akta.jp/delivery-boys/4coma/

あなたのための
あんしん
ページ情報

HIV検査の新常識 8つのポイント がオープンしました!!



8つのポイント
HIV検査ってどんなもの?なぜ必要?いつ、どこで?

- 新しい情報や考え方をとらえ、
 - 今もっとも大切なことをまとめました。
- 迷ったときは、まずここをチェック!



2021年、HIVマップの3つのメインコンテンツ
が最新情報にアップデートしました!!

U=U, PrEP, PEPなどの
新しい情報が追加!

UP DATE!



>>> あんしんHIV検査サーチ

ゲイ・バイ男性にフレンドリーな首都圏のHIV検査情報。検査の基礎知識やFAQも豊富、検査を受けようか迷っているときにも役立ちます。



>>> HIVお役立ちナビ

HIV/エイズとその関連分野の総合リンク集。セックス、性感染症、相談機関、体験談、予防、治療、セクシュアリティ、メンタルなどに関する約300件を掲載。



>>> HIV/エイズガイド

HIV/エイズの基本のキを、児雷也さんのイラストと対談形式の読みやすい文章で学びます。感染の仕組み、予防の方法、HIV検査・治療・福祉制度など。

HIVマップ すぐに役立つHIVの情報サイト

すぐに役立つHIVの情報サイト。「情報が欲しい」「検査がしたい」「基礎を知りたい」、あなたのニーズにあわせて、各コンテンツをわかりやすく提供しています。

HIVマップは、2020年度厚生労働省委託事業「同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業（NPO法人akta受託）」により運営されています。



U=U 効果的なHIV治療 = セックスの相手に感染しない HIVの新常識を知ろう

U=Uについて今知っておいてもらいたい6つのポイントと、HIVに関する新しい情報のお役立ちリンク集を掲載しています。英語、簡体字、繁体字、ハンゲル、ベトナム語でも読むことができます。

<https://akta.jp/uu2020/>



編 集 後 記



まずは「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！ Vol.2」をお読み頂きありがとうございます！ Vol.1 でもそうだったけど、普段行ったことがあるバーでも、インタビューを通して話を聞いてみると色々な発見があったり、自分も考えさせられるような深い話が聞けたりするのが、やっぱり改めて話してみると楽しいですね！

そして何といっても今回は、「あんしん HIV 検査サーチ」の取り組みを紹介したページが新しく登場しています！新宿二丁目に飲みに行ったり、楽しむことも大事だけど、ゲイライフを楽しむ為には、自分の健康のことを考えることも大事だよな。

この冊子が、みなさまのゲイライフを豊かにする一つになりましたら嬉しく思います。

最後になりましたが、この場を借りてインタビューにご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。

今後ともデリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！をよろしく願います。(デリヘルくん)

今回の最初のインタビューを最初に行ったお店はSAMBOさん。2019年の1月、オファーをしたのは沖縄の出張の帰りで、羽田からその足でお店に伺ったことを覚えています。

それから、およそ二年が過ぎ、変わりゆく日常の中でも、このインタビューの企画を続けられていることはありがたいなあ。

ここでは書ききれない、楽しい思い出がページを捲るたび蘇ってきます。同じように多くの人が新宿二丁目で思い出を重ねていることを願って、この本がそんな思い出に寄り添うような一冊になってほしいです。(デバヘルくん)



(右写真) 前回、「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！ Vol.1」にご協力いただいた店舗のみなさま★



akta monthly schedule 特別編集
デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！
Vol.2

発行日：2021年1月
企画・発行：akta
進行管理：木南拓也
編集・デザイン：村上ひろし
イラスト：木南拓也
協力：湯見陽、藤原孝大
問い合わせ：community center akta
〒160-0022
東京都新宿区新宿 2-15-13 第2中江ビル301
TEL：03-3226-8998
FAX：03-6380-0575
E-mail：info@akta.jp

この冊子は、2020年度厚生労働省委託事業
「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式」
で作成されました。

※このインタビューは2020年12月までに掲載していたものを
そのまま掲載しています

無断コピー・転載お断り



community center akta

東京都新宿区新宿2-15-13第二中江ビル301

開館：16:00～22:00

(月・火・水曜・年末年始除く)

問合せ：info@akta.jp

TEL：03-3226-8998

FAX：03-6380-0575

URL akta.jp

Twitter@akta_info

HIVマップ

すぐに役立つHIVの情報サイト



ゲイ・バイセクシュアル男性をはじめ、全ての人に
すぐに役立つ予防・検査・相談・支援の窓口や
基礎知識など。